もくじ

はじめに

操作説明

通話録音サービス

メールサービス１

メールサービス２

その他

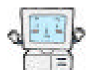
画面操作説明

操作早見

はじめに

本書は、ＦｕｌｌＴｉｍｅＥＲＲＤ、及びＥＲＲＤ（以下ＥＲＲＤと略します）の電話における操作のための説明書です。
電話にて通話内容を録音したり、録音内容を聞いたりするための操作を取り上げています。

■　本書中にでてくる記号等について

- ●　０ ＃ ＊ など　→　プッシュボタンを表します。
- ●　案内　→　ＥＲＲＤから流れてくる音声です。
- ●　　→　画面での操作が必要です。画面操作説明書をご覧ください。
- ●　×，　　　→　＃ ＊ 以外の任意のプッシュボタンを表します。
- ●　文章中の”ＥＲＲＤ”は、”イード”と発音します。

■　ご注意

- ・　本書の一部、または全てを無断で転載することは堅くお断りいたします。
- ・　本書の内容は、予告無しに変更する場合があります。
- ・　万一誤り、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡いただきますようお願いいたします。

必ずお守りください

１．安全にお使いいただくために

本書には、本システムを安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本システムをお使いになる前に、本書をご熟読ください。特に「３．警告」と「４．注意」をよくお読みになり、ご理解された上で本システムをお使いください。
また本書は、本システムのご使用中にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。弊社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全にお使いいただくために、細心の注意を払っています。
本システムをお使いになる際は、本書の指示に従ってください。

２．警告表示について

下の表示は、本システムを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取扱をしますと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱をしますと、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容を示す絵（左の例の場合は感電注意が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。 記号の中や脇には、具体的な禁止行為（左の例の場合は分解禁止）が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な指示内容（左の例の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が示されています。

３．　警告

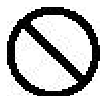

警告

感電



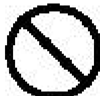
◆オプションの機器の取り付けや取り外しを行う場合は、機器本体、及び接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
　　──→　感電の原因になります。

感電



◆電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
　　──→　重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因になります。

感電



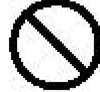
◆電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい時は使用しないでください。
　　──→　そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。

感電



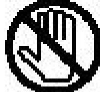
◆濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
　　──→　感電の原因になります。

感電



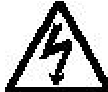
◆カバーを外した状態でコンセントを差したり電源を入れたりしないでください。
　　──→　感電・火災の原因になります。

感電



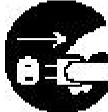
◆部品や通電部に直接触れないでください。
　　──→　感電・静電気による故障の原因になります。

感電



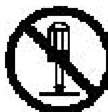
◆電源コードを抜いた後、プラグに触れないでください。
　　──→　感電の危険があります。

感電



◆万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、直ちに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
　　──→　煙が消えるのを確認して販売店またはサービス窓口に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は 危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用しますと、火災・感電の原因になります。

感電

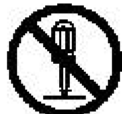


◆機器をお客様ご自身で改造しないでください。
　　──→　火災・感電の原因になります。



警告

感電



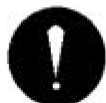
◆機器本体のカバーや差込口に付いているカバーは、電池交換やオプション品の取り付けなど、必要な場合以外は取り外さないでください。
⟶ 内部の点検・修理は販売店またはサービス窓口にご依頼ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

誤飲



◆取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲み込むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
⟶ 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

誤飲



◆電池を使用する機器で、使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲むことのないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
⟶ 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

窒息



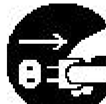
◆梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないようにご注意ください。
⟶ 窒息の原因になります。

発火



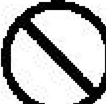
◆電源プラグやＡＣアダプタの金属部分及びその周辺に埃が付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
⟶ そのまま使用しますと、火災の原因になります。

感電



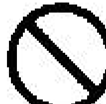
◆近くで雷が発生したときは、電源コードやモジュラーコードをコンセントから抜いてください。
⟶ そのまま使用しますと、雷によって機器が破壊され火災・感電の原因になります。

感電



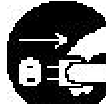
◆表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。
⟶ 感電・火災の原因になります。

感電



◆付属の電源コード、ケーブル以外は使用しないでください。
⟶ 感電・火災の原因になります。

感電

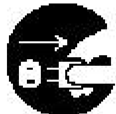


◆異物（水・金属片・液体など）が機器の内部に入った場合は、直ちに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
⟶ そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。



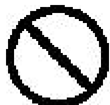
警告

感電



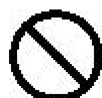
◆機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
⟶ そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。

感電



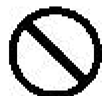
◆開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
⟶ 火災・感電の原因になります。

感電



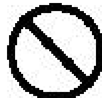
◆機器本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
⟶ 感電・火災の原因になります。

感電



◆機器の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器や「クリップ・ピン」などの金属物を置かないでください。
⟶ 感電・火災の原因になります。

感電



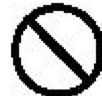
◆台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
⟶ 感電・火災の原因になります。

感電



◆風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。
⟶ 感電・火災の原因になります。

感電

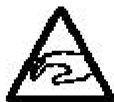


◆ディスプレイに何も表示できないなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理は販売店またはサービス窓口にご依頼ください。
⟶ そのまま使用しますと、感電・火災の恐れがあります。

４． 注意

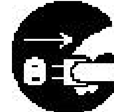


けが



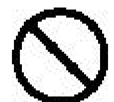
◆フロッピーディスクをセットおよび取り出す時には、フロッピーディスクドライブの差し込み口に指などを入れないでください。
⟶ けがの原因になることがあります。

感電



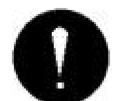
◆機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。
⟶ 作業は足下に十分注意して行ってください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になったり、機器が落ちたり倒れて、けがの原因になることがあります。

けが



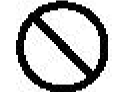
◆電池はショートさせたり、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしないでください。
⟶ 電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になることがあります。

けが



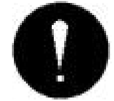
◆電池を使用する機器で、長時間使用しない場合には、電池を取りだしておいてください。
⟶ 火災・けが・周囲を汚す原因になることがあります。もし、電池から液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、濡れた液が皮膚についたときは、水でよく洗い流してください。

けが



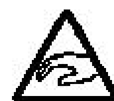
◆ＡＣアダプタを使用する機器の場合は、指定以外のＡＣアダプタを使用しないでください。また、ＡＣアダプタの改造、分解はしないでください。
⟶ 火災・けがの原因になることがあります。

けが



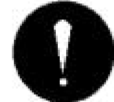
◆電池を取り付ける場合、極性表示のプラス＋とマイナス－の向きに注意し、表示の通りに入れてください。
⟶ 間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になることがあります。

感電



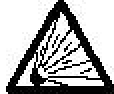
◆モジュラージャックなどに指などを入れないでください。
⟶ 感電の原因になることがあります。

重量物



◆本システムを移動する場合は、必ず２人以上で行ってください。
⟶ けがの原因になることがあります。

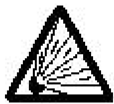
破裂



◆使用済みの電池を廃棄する場合は、他のゴミと一緒に捨てないでください。
⟶ 火中に投じると破裂のおそれがあります。

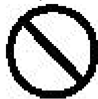
注意

破裂



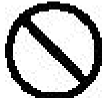
◆機器の廃棄時には、他のゴミと一緒に捨てないでください。
⟶ 火中に投じると破裂のおそれがあります。

けが



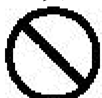
◆機器の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
⟶ バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。

けが



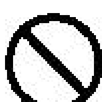
◆振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
⟶ 落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

けが



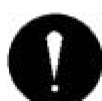
◆直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
⟶ 高温によって、カバーなどが加熱・変形・溶解する原因になったり、機器内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

感電



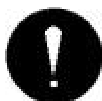
◆電源プラグやＡＣアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやＡＣアダプタを持って抜いてください。
⟶ 電源コードを引っ張りますと、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、 火災・感電の原因になることがあります。

発火



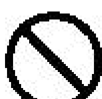
◆電源プラグやＡＣアダプタは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
⟶ 火災・故障の原因になることがあります。

発火



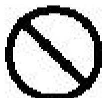
◆火災防止のため、電源コードを接続するコンセントは、機器のそばに設けてください。

発火



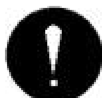
◆指定外の機器（ディスプレイ装置以外）をサービスコンセントに接続しないでください。
⟶ 火災・故障の原因になることがあります。

発火



◆電源コードを束ねて使用しないでください。
⟶ 発熱して、火災の原因になることがあります。

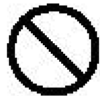
その他



◆本システムの電源は常時入れたままにしておいてください。

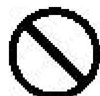
注意

発火



◆機器の開口部（通風口など）をふさがないでください。
⟶ 内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

発火



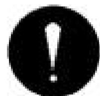
◆使用中の機器及びＡＣアダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。
⟶ 熱がこもり、火災の原因になることがあります。

その他



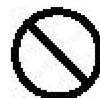
◆テレビやラジオなどの電気製品から５m以上離してください。
⟶ 雑音の原因になります。

その他



◆道路の近くでＣＢ無線が混入する場合や放送局のアンテナの近くで雑音が混入する場合は、販売店にご相談ください。

その他



◆主装置には、ハードディスクが内蔵されていますので、衝撃を与えないでください。
⟶ 故障の原因になります。

◆上記の警告や注意を守らずに使用した場合は、保証の対象外となりますので、くれぐれもご注意ください。

◆ハードディスクに記録されたデータ等は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねますのでご了承ください。

正しくお使いいただくために

操作する電話機は

操作するときはプッシュホン、若しくはプッシュ信号のでる電話機で

●ＥＲＲＤはプッシュ信号で動作します。

覚えていただきたい３つの番号

ＥＲＲＤの電話番号（メールサービスをご利用になるとき、必要となります）

●ＥＲＲＤを呼出す番号です。

●内線からと外線からでは番号が違います。

ＩＤ番号

●　メールサービスを利用するために個人またはグループ用に設けた番号です。
（ＩＤ番号がないとメールサービスは、利用できません。）

暗証番号（登録されている方のみ必要となります）

●メールサービスをご利用いただくために必要です。

●他の人に知られてしまいますと、個人、またはグループの情報が漏れてしまいます。

操作するときは

操作は音声で案内されます

●操作手順は音声案内に従ってください。

●操作は音声案内の途中でも行えます。

特　長

通話録音サービス

会社にかかってきた、または、かけた電話の内容をそのまま録音するため、メモを取る必要がなくなり、聞き間違いや伝言ミスを解消します。
また通話録音後、ポケットベル、若しくは携帯電話等の呼出を行うことができるため、担当者への連絡がスムーズに行えます。
録音された音声をダイヤルイン番号ごと、または日付ごとに管理することが可能です。

メールサービス

電話機から自分あてのメッセージを再生したり、他の人にメッセージを録音したりすることができます。
また、ＩＤを外部の方に貸出することもできます。
外部ＩＤは、課金情報を取得することができます。
重要なメッセージは、永久に保存管理できます。

着信代行サービス

夜間・休日・休憩中にかかってきた電話に応答しますので、留守番電話、自動受注として使用できます。
また、時間帯や曜日の指定をする事により、最大１０個の応答音声で対応する事ができ、録音メッセージは最大３０００件まで録音することができます。
ダイヤルイン回線の場合、個々のＩＤでの自由な時間帯での個別着信代行が行えます。

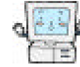
音声メールサービス

お客様に自分のＩＤ番号と音声メール回線の電話番号をお伝えすることにより、お客様からのメッセージを２４時間体制で受け付けることができます。
また、音声メール回線にかかってきた電話に対して応答音声を日本語と英語より選択できます。（回線毎に送出音声を選択できます。）
さらに、呼出が可能なので緊急の連絡等にも利用いただけます。

操作説明

通話録音時のご注意

録音できる通話について

録音できる通話は普通の一般公衆回線と専用回線です。

ただし、システム初期登録画面にて、設定した通話録音回線のみです。
※　ＥＲＲＤは、アナログ回線にしか対応しておりません。デジタル回線ではご利用いただけません。
ただし、ＩＮＳ６４（ＩＳＤＮ）回線の場合は、ＴＡの後では録音可能ですが機器によっては録音音量や録音度合が悪い場合もあります。
また、アナログ回線を利用していても回線の環境等によってＥＲＲＤが正常に動作しない場合があります。

➡　内線、ＭＣＡ無線の通話は録音できません。

通話録音時のご注意

●相手に無断で通話録音しますと、個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。
相手の方にお断りの上、通話録音するようにお願いします。
また、宛先不明録音を行うと通話内容がすべて残りますので社内の方に通知するようにお願いします。

●通話録音時に何らかの障害が発生した場合は、録音内容が残りません。
その際は、画面にエラーが表示されますので”ディスプレイエラーメッセージ”をご覧になり対処してください。
（☞　ディスプレイエラーメッセージ　１８３ページ）

ＩＤ番号について

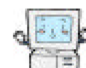
ＥＲＲＤは一般登録用として０００１～９９９９までのＩＤがあり、各ＩＤにはメッセージを９９BOXまで録音できます。

ＩＤ		
	着信代行ＩＤ	着信代行サービスのとき、メッセージが登録されるＩＤです。
	一般ＩＤ（０００１～９９９９）	部署、氏名などを個別に設定します。
	宛先不明ＩＤ	宛先不明録音を行うとき、メッセージが登録されるＩＤです。（任意ＩＤ）

● 録音できる総メッセージは１００００メッセージまでです。
ただし、下記については総メッセージ数とは関係なく下記のメッセージ数までです。
・一斉同報メッセージは９９BOX（９９メッセージ）までです。
・着信代行応答音声は１０音声までです。
・状態録音は１ＩＤで１メッセージです。
・音声メール応答録音は１ＩＤで２メッセージです。（日本語、または英語）

（注）総メッセージ数を超えなくても、ディスク容量を超えたときは録音できません。

● ＩＤが内部者の場合、１メッセージあたりの録音時間等を変更できます。（ＢＯＸ数は、９９固定です。）



ＩＤが内部者の場合とは

ＩＤ登録時のＩＤ区分が内部（０）のＩＤを示します。
主に社内の方などがＥＲＲＤを利用していただく場合に設けてある区別です。
ＩＤ区分を内部で登録されているＩＤは、メールサービス１機能しか使用できません。
（☞　メールサービス１　３１ページ～５９ページ）

● ＩＤが外部者の場合、ＢＯＸ数、１メッセージあたりの録音時間等を区分ごとに変更できます。



ＩＤが外部者の場合とは

ＩＤ登録時のＩＤ区分が外部（１～１０）のＩＤを示します。
社外の方などがＥＲＲＤを利用していただく場合に設けてある区別です。
ＩＤ区分を外部で登録されているＩＤは、メールサービス２機能しか使用できません。
（☞　メールサービス２　５９ページ～７１ページ）

通話録音回線のダイヤルインの運用ついて

１．通話録音時

・システム情報設定画面にて「通話録音ＤＩ番号転送」の指定を有りにした場合に下記の動作を行います。

（１）何も操作せずに電話を切った場合（無操作オンフック時）
通話終了後、オンフックにて登録されているダイヤルイン番号と同一のＩＤ番号へ登録されます。
ダイヤルイン番号と同一のＩＤ番号が登録されていないときは、システム情報設定の「宛先不明機能」が有りのときは宛先不明に登録されます。

（２）操作を行った場合（＊＃時）
登録ガイダンスが流れ任意のＩＤ番号へ登録することができます。
ＩＤ番号を指定せずにオンフックしたときは、システム情報設定の「宛先不明機能」が有りのときは宛先不明に登録されます。システム情報設定の「宛先不明機能」が無しのときは登録されません。

通話録音動作表

	通話録音ＤＩ転送					
	無し		有り			
	宛先不明登録		宛先不明登録			
	無し	有り	無し		有り	
			DI対応ID番号		DI対応ID番号	
			無し	有り	無し	有り
無操作 オンフック	登録 されない	宛先不明 へ登録	登録 されない	対応ＩＤ へ登録*1	宛先不明 へ登録	対応ＩＤ へ登録*1
＊＃後 オンフック	登録 されない	宛先不明 へ登録	登録 されない	登録 されない	宛先不明 へ登録	宛先不明 へ登録
＊＃後 ID指定ｵﾝﾌｯｸ	任意ＩＤ へ登録	任意ＩＤ へ登録	任意ＩＤ へ登録	任意ＩＤ へ登録	任意ＩＤ へ登録	任意ＩＤ へ登録

*1：強制呼出が設定されている場合は、録音されると呼出を行います。

2．着信代行時

・システム情報設定画面にて「着信代行ＤＩ番号転送」の指定を有りにした場合に下記の動作を行います。

（1）ダイヤルイン番号と同一のＩＤ番号が登録されている
①該当ＩＤの個別着信代行時刻のときは、該当ＩＤの応答メッセ－ジが流れ、録音終了後、該当ＩＤに登録されます。
個別着信代行時刻でのみ動作します。個別着信代行時刻外かつシステム着信代行時刻の場合は動作しません。
呼出は該当ＩＤの個別着信代行の設定が強制呼出有りのとき呼出を行います。
②該当ＩＤに個別着信代行の設定がないときでシステム着信代行時刻のときは、システム着代音声が流れ、システム着信代行ＩＤに登録されます。

（2）ダイヤルイン番号と同一のＩＤ番号が登録されていない
システム情報設定の「未登録ＤＩ」の指定により下記の動作を行います。
・着信　　－　通常の着信代行と同じ動作となります。
・未着信　－　着信代行は動作しません。

着信代行録音動作表

	着信代行録音ＤＩ転送								
	無し		有り						
	システム 着信代行設定		システム着信代行設定						
	無し	有り	無し			有り			
			ＤＩ対応ＩＤ番号			ＤＩ対応ＩＤ番号			
			無し	有り		無し		有り	
				個別着信代行 設定		未登録ＤＩ 設定		個別着信代行 設定	
				無し	有り	未着信	着信	無し	有り
着信 代行	未着信	着信	未着信	未着信	着信	未着信	着信	着信	着信
登録 ＩＤ	－	着代 ＩＤ	－	－	該当 ＩＤ	－	着代 ＩＤ	着代 ＩＤ	該当 ＩＤ

※１：個別着信代行時の音声はシステム情報設定画面で設定された送出音声が送出されます。
※２：録音後、強制呼出が設定されている場合は、呼出を行います。
※３：システム音声とは着信代行メンテナンスにて録音した着信代行応答音声です。
※４：個別音声とは音声メ－ル応答録音にて録音した音声メ－ル応答音声です。

着信代行機能について

システム着信代行機能とは

外線からの着信を一定回数呼出ししても応答しない場合にシステム着信代行に切り替え、案内が流れた後、外線からのメッセージを録音できます。また、録音後にポケットベルまたは携帯電話等を呼出しすることもできます。

（１）夜間代行（留守番電話）
案内が流れた後、外線からのメッセージを着信代行のＩＤに録音します。また、録音後にポケットベルまたは携帯電話等を呼出しすることもできます。

（２）自動受注
案内が流れている最中に　９　を押すと、受注用音声案内が流れ、外線からのメッセージを任意の受注ＩＤに録音します。また、録音後にポケットベルまたは携帯電話等を呼出しすることもできます。

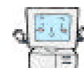
（３）電話転送
転送する旨の案内が流れ、システム着信代行転送番号に設定された転送先に専用回線から発信して電話をかけてこられたお客様と接続します。ただし、転送するのは１回線目のみです。

（４）メールサービス切替
案内が流れている最中に　５　を押すと、メールサービスに切り替わります。
この場合は、録音はされません。

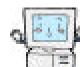
（注）外線とは、システム初期登録画面で設定した通話録音回線です。

■　システム着信代行を動作させるには

➡　システム初期登録画面にて通話録音回線数が１回線以上で設定されているとき。



➡　システム着信代行応答音声が録音されていて、システム着信代行設定画面にてシステム着信代行機能が有りで終日指定または時刻指定を設定されていて、かつ応答監視回数が１回以上で設定されているとき。



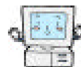
（☞　着信代行の設定をする　４９ページ）

■　着信代行の応答音声の登録は

➡　メールサービス１の着信代行の設定で録音します。１１パターンの音声を登録できます。
ただし、自動受注は１パターンのみです。
（☞　着信代行応答音声を吹き込むには　５０ページ）

■　着信代行の録音数は

➡　システム情報設定画面の着信代行予備ＩＤ番号、着信代行予備使用数の設定により、システム着信代行の録音メッセージ数を変更することができます。



①　着信代行予備使用数を０で設定したとき（出荷時の設定）
基本着信代行ＩＤのみの使用となり、録音メッセージ数は９９BOXまででです。

②　着信代行予備使用数を１～３０で設定したとき
録音メッセージ数は(９９BOX × 着信代行予備使用数) ＋ ９９BOXとなります。
ただし、最大録音メッセージ数は３０００BOXまででです。

■　メッセージの録音時間は　➡　１分固定です。

■　ＢＯＸまたは、ディスクがいっぱいで録音できないときは

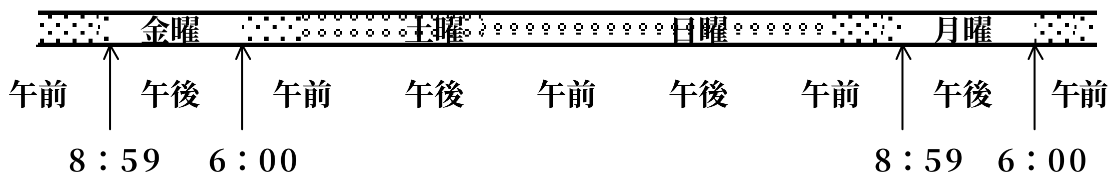
➡　着信代行応答音声が流れた後、「誠に申し訳ございませんが只今録音ができません。お電話ありがとうございました。」が聞こえます。

■　録音されたメッセージを聞くには

➡　項”メールサービス１　着信代行で録音されたメッセージを聞く”を参照してください。
（☞　３９ページ）
ただし、自動受注で録音された音声は一般ＩＤの登録となりますので項”メールサービス１　自分あてのメッセージを聞く”を参照してください。
（☞　３４ページ）

☆　システム着信代行サービス例

例　終日指定を土、日曜、時刻を午後６時～午前８時５９分で設定した場合



終日指定の着信代行サービス範囲
時刻指定の着信代行サービス範囲

※　時刻の設定は、画面から設定します。
※　終日指定は３タイプ設定できますので、年末年始等は他の終日タイプをご利用していただくと便利です。

着信代行が応答したときの操作



１　外から電話がかかると自動応答する

案内　［着信代行応答音声］ピッ。



２　メッセージを話す



３　電話を切る

➡　呼出ありのときは、ポケットベルまたは携帯電話等を呼出します。

■　呼出のセット方法は

➡　ＩＤ登録画面にて設定しますが、項”メールサービス１　着信代行の設定をする”の操作でかえることもできます。
（☞　着信代行録音時に呼び出すようにセットするには　５１ページ）

着信代行で受注するときの操作（自動受注）



1 外から電話がかかると自動応答する

案内 ［着信代行応答音声］ピッ。



2 ［着信代行応答音声］が流れている間に 9 を押す



3 ［自動受注用着信代行応答音声］が流れる

案内 ［着信代行応答音声］ピッ。



4 メッセージを話す



5 電話を切る

➡ 呼出ありのときは、ポケットベルまたは携帯電話等を呼出します。

■ 呼出のセット方法は

➡ ＩＤ登録画面にて設定しますが、項 ” メールサービス１ 着信代行の設定をする ” の操作でかえることもできます。
（☞ 着信代行録音時に呼び出すようにセットするには ５１ページ）

着信代行で転送されたときの操作



1 外から電話がかかると自動応答する

案内 ［着信代行応答音声］ピッ。



2 ［只今、呼び出しております。しばらくお待ちください］



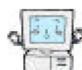
3 転送先の電話とつながる

個別着信代行機能とは

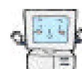
外線からの着信を一定回数呼出ししても応答しない場合に個別着信代行に切り替え、案内が流れた後、外線からのメッセージをダイヤルイン番号のＩＤに録音できます。（留守番電話）
また、録音後にポケットベルまたは携帯電話等を呼出しすることもできます。
どの電話機からでもメッセージを録音できます。

（注）外線とは、システム初期登録画面で設定した通話録音回線です。

■　個別着信代行を動作させるには

➡　以下の条件をすべて満たす必要があります。
①　システム初期登録画面にて通話録音回線数が１回線以上で設定されている。
②　種別がダイヤルインで設定されている。
③　システム設定画面にて着信代行ＤＩ番号転送が有りで設定されている。
④　ＩＤ登録画面にて個別着信代行時刻または、基本パターンが設定されている。
⑤　システム着信代行機能の応答監視回数が１回以上で設定されているとき。

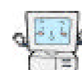
■　個別着信代行の固定応答音声の登録は

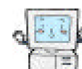
➡　システムで固定の応対をするには、システム設定画面で送出音声にシステムを選択し、録音済みの音声番号を設定します。
応答音声を登録するには、項”メールサービス１着信代行の設定をする”を参照してください。
（☞　着信代行応答音声を吹き込むには　５０ページ）

■　個別着信代行の録音数は

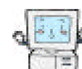
➡　内部ＩＤは９９BOX、外部ＩＤはシステム情報設定画面にて設定されたBOX数までです。

■　応答音声をＩＤ毎の個別音声にするには

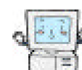
➡　システム設定画面の着信代行ＤＩ番号転送、送出音声をともに１（有、個別）に設定します。
その際、音声メール応答音声（日本語）が代行応答を行い、お客様のメッセージを個々のＩＤにダイレクト登録します。

（注）音声メール応答音声（日本語）が吹き込まれていない場合、システムの応答音声が応答します。

■　録音時間は

➡　内部、外部とも最大３分まで録音できます。
但し、システム情報設定画面にて録音時間が３分以下で設定されている場合は、設定されている時間まで録音できます。

■　着信代行基本パターンとは

➡　個別着信代行の時刻設定をパターン化することにより個々の時刻設定を簡略化したものです。設定できるパターンは３個です。
（パターン設定は、画面でのみ設定可能です。）

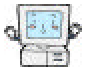
音声メール機能について

音声メール機能とは

外線からのメッセージを直接自分のＩＤに録音できます。
お客様などからメッセージを録音していただく場合に便利です。
音声メール機能が利用できる回線は、システム初期登録画面で設定した音声メール回線のみです。

■　音声メールの録音数は

➡　内部ＩＤは９９BOX、外部ＩＤはシステム情報設定画面にて設定されたBOX数までです。



■　メッセージの録音時間は

➡　内部、外部ともシステム情報設定画面にて設定された録音時間まで録音できます。



■　ＢＯＸまたは、ディスクがいっぱいで録音できないときは

➡　案内が流れた後、「誠に申し訳ございませんが只今録音ができません。お電話ありがとうございました。」が聞こえます。

■　録音されたメッセージを聞くには

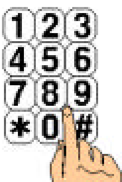
➡　通常の再生と同じ操作で聞くことができます。項”メールサービス１、２　自分あてのメッセージを聞く”を参照してください。
（☞　３４ページ、６３ページ）

音声メールの操作方法（日本語の場合）



１　外から電話がかかると自動応答する

案内　こちらは音声メールです。登録するＩＤをどうぞ。



２　登録するＩＤ番号 を押す

案内　登録するＩＤ番号 ですね、よろしければ ５、誤りであれば ０ をどうぞ。

➡ 音声メール登録先確認案内がなしの場合のときは省略する

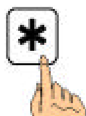


３　５ を押す

案内　［吹き込んだ音声メール応答音声］ピッ



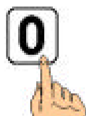
４　メッセージを吹き込む



５　＊ を押す

案内　呼出は ５、しない場合は ０ をどうぞ

➡ 呼出設定がなしのとき、または強制呼出が有りのときは省略する。



６　０ を押す

案内　お電話ありがとうございました。



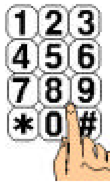
７　電話を切る

音声メールの操作方法（英語の場合）



1　外から電話がかかると自動応答する

案内　This is the VOICEMESSAGESYSTEM, registration ID, Please?



2　登録するＩＤ番号 を押す

案内　Is that 登録するＩＤ番号 ? Please pless 5 for confirmation, press 0 otherwise

➡ 音声メール登録先確認案内がなしの場合のときは省略する

3　５ を押す

案内　［吹き込んだ音声メール応答音声］ピッ



4　メッセージを吹き込む

5　＊ を押す

案内　Please press 5 for paging, and press 0 otherwise.

➡ 呼出設定がなしのとき、強制呼出が有りのときは省略する

6　０ を押す

案内　Thank you for calling.



7　電話を切る

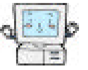
■　音声メール応答音声の吹き込みは
➡ 項”メールサービス１、２　音声メール応答音声を吹き込むには”を参照してください。
（☞　４７ページ、６９ページ）

■　録音するＩＤを間違えたときは
➡ 手順３で ０ を押すと、手順２から再操作します。

■　呼出をしたいときは
➡ 手順６で ５ を押し、案内に従って操作します。

■　手順３で音声メール応答音声が吹き込まれていないときは
➡　手順３の案内が日本語の場合「発信音の後からお話ください。終わりましたら ＊ をどうぞ。」に変わります。
➡　手順３の案内が英語の場合「Ｐｌｅａｓｅ　ｓｐｅａｋ　ａｆｔｅｒ　ｔｈｅ　ｔｏ－ｎｅ, ａｎｄ　ｐｒｅｓｓ　＊（ｓｔａｒ　ｓｙｍｂｏｌ）　ｔｏ　ｆｉｎｉｓｈ　ｒｅｃｏｒｄｉｎｇ」に変わります。

■　システム情報設定画面で音声メール登録先確認案内を０（無）で設定していると
➡　手順２でのＩＤの確認がなくなります。



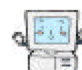
宛先不明機能について

宛先不明機能とは

通話録音にて録音されたメッセージを一時的に保存しておく機能です。
ダイヤルイン回線でご利用の場合には、ダイヤルイン子番号対応のＩＤに登録します。

■　宛先不明機能を利用するには

➡　通話録音回線が必要です。さらにシステム情報設定画面にて宛先不明機能の設定が必要です。

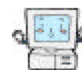


■　宛先不明に登録するには

➡　登録する操作はありません。通話録音回線にて通話終了後にそのまま電話を切ると登録されます。
但し、ダイヤルイン登録機能が有効な場合は、対応するＩＤに登録されます。

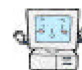
■　録音時のメッセージ数は

➡　登録先が宛先不明の場合は、システム情報設定画面にて設定された宛先不明メッセージ数までです。
登録してあるメッセージ数を越えた場合は、日付の古い順に削除されていきます。



■　メッセージの録音時間は

➡　システム情報設定画面にて設定された時間までです。
※登録してある録音時間を超えた場合、その時点で録音は終了します。



■　ＢＯＸまたは、ディスクがいっぱいで録音できないときは

➡　画面に警告音とともにその旨を表示し録音を行いません。

■　録音中にディスクがいっぱいになったときは

➡　画面に警告音とともにその旨を表示しその時点で録音を終了します。

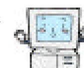
■　録音されたメッセージを再生するには

➡　項”メールサービス１　録音先を指定せずに切った通話内容を聞く”を参照してください。
（☞　５６ページ）

音声情報メンテナンスについて

音声情報メンテナンス機能とは

有効日数を超過したメッセージ等の削除を自動で行う処理です。
音声情報メンテナンスは、システム情報設定画面で設定している音声情報メンテナンス開始時間に行います。



■　音声情報メンテナンスは

➡ システム情報設定画面にて設定した音声情報メンテナンス開始時刻になると音声情報メンテナンスが実行されます。但し、回線使用中は全ての回線が未使用になるまで実行しません。
着信代行時間帯のときは、音声情報メンテナンスが終了するまで着信代行機能は使用できません。

■　削除されるメッセージは

➡ 内部ＩＤは、録音情報有効日数を超過しているメッセージを削除します。但し、１度も再生していないまたは、保存指定のあるメッセージについては削除を行いません。
外部ＩＤは、録音情報有効日数（外部）を超過しているメッセージを削除します。但し、１度も再生していないまたは、保存指定のあるメッセージについては、削除を行いません。
一斉同報メッセージは、一斉同報情報有効日数を超過しているメッセージを、再生の有無にかかわらず削除を行います。

➡ 着信代行での録音メッセージは削除しませんので、メッセージはその都度、削除または、転送を行ってください。
（メッセージ数が９９件または９９件×予備使用数になると録音できなくなります。）

➡ 宛先不明機能をありで設定されている場合は、削除されません。
宛先不明機能をＩＤに割り付けて保存するで設定されている場合は、設定した有効週数を超過した超過分の削除を行います。

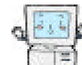
■　音声情報メンテナンス中に電話がかかったときは

➡ 音声情報メンテナンス中に回線がつながると（通話録音回線を除く）、音声情報メンテナンスを行っている旨の音声ガイダンスが流れます。
通話録音回線は、そのまま利用できます。但し、通話録音は行えません。

（注）録音情報有効日数，録音情報有効日数（外部），一斉同報情報有効日数，音声情報メンテナンス開始時刻の詳細については、『システム情報設定画面』を参照してください。　（☞　１１３ページ）

通話録音サービス 通話内容を録音する

●通話内容を録音するには、次のように操作します。
●外へかけたときも同じ操作です。
●録音できる通話は、システム初期登録画面にて、設定した通話録音回線のみです。



録音するには

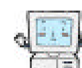
1 電話を受ける ➡ 録音開始	5 相手のＩＤ番号 を押す 案内 ＩＤ 相手のＩＤ番号 ですね。よろしければ 5、誤りであれば 0 をどうぞ。
2 通話が終わったら ＊# と押す ➡ 録音終了 案内 あなたのＩＤをどうぞ。	6 5 を押す ➡ 通話内容が指定したＩＤに登録される。 案内 コメントの録音は 1、呼出は 2、終了は 9 をどうぞ。
3 自分のＩＤ番号 を押す 案内 ＩＤ 自分のＩＤ番号 ですね。よろしければ 5、誤りであれば、0 をどうぞ。	
4 5 を押す 案内 登録するＩＤをどうぞ。	7 電話を切る ➡ 9 を押して電話を切る。または電話を切る。

■ 手順６までの操作を行わないで電話を切った場合は
➡ 宛先不明録音機能を使用していないときは、通話内容は残りません。
また、宛先不明録音機能を使用しているときは、通話内容が宛先不明ＩＤに保存されていますので、画面または電話にて任意のＩＤに転送することができます。



■ 手順６のあとの案内が違っている
➡ 登録するＩＤが呼出設定していないときは、「コメントの録音は 1、終了は 9 をどうぞ。」に案内が変わります。

■ システム情報設定画面で通話録音登録者確認を０（無）で設定していると
➡ 手順３、４での案内が省略され、手順５からの操作となります。
但し、通話録音に関して、登録した相手が聞いたかどうかを確認することができなくなります。



■ システム情報設定画面で通話録音ＤＩ番号転送を１（有）で設定していると
➡ 上記の操作を行わなくても、ＤＩ番号と同じＩＤに自動登録されます。
（注）ＤＩ番号と同じＩＤが登録されていないと登録エラーが発生し、音声は宛先不明に登録されます。
宛先不明機能も無い場合は、音声は消去されます。



■ 録音時間は ➡ システム情報設定画面にて設定された録音時間まで録音できます。

通話録音サービス　通話にコメントをつけ加える

●通話録音後に、録音した内容にコメントをつけ加えるときは電話を切るまえに、次のように操作します。

録音した内容にコメントをつけ加えるには

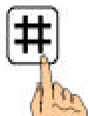
登録するＩＤの入力確認のあとの案内に従って操作してください。

案内　コメントの録音は １、呼出は ２、終了は ９ をどうぞ。



１　１ を押す

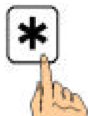
案内　＃ を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら ＊ をどうぞ。



２　＃ を押す



３　コメントを話す



４　終わったら ＊ を押す

案内　コメントの録音は １、呼出は ２、終了は ９ をどうぞ。



５　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。

■　登録するＩＤの入力確認のあとの案内が違っている

➡　登録するＩＤが呼出設定していないときは、「コメントの録音は １、終了は ９ をどうぞ。」に案内が変わります。

■　コメントを再録音するときは

➡　手順５で １ を押し、手順１から再操作を行ってください。

■　手順４を行わずに電話を切ったときは

➡　コメントは保証されません。

通話録音サービス　録音した相手のポケットベル、携帯電話等を呼出する

●ポケットベル、携帯電話等を呼出す場合は、専用回線が必要です。
●通話録音して、通話内容を登録した相手のポケットベルや携帯電話等を呼出すときは電話を切るまえに、次のように操作します。

呼出すには

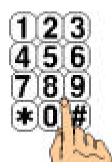
登録するＩＤの入力確認のあとの案内に従って操作してください。

案内　コメントの録音は　１、呼出は　２、終了は　９　をどうぞ



１　２　を押す

案内　メッセージを１０ケタ以内で入力し、最後に　＃　をどうぞ。メッセージをいれな場合は　＃　のみどうぞ。



２　メッセージ　＃　を押す

案内　メッセージは　メッセージ　ですね。よろしければ　５、誤りであれば　０　をどうぞ。

➡　メッセージを入れないときは　＃　のみ押します。



３　５　を押す

案内　ポケットベルへの呼出を受け付けました。コメントの録音は　１、呼出は　２、終了は　９　をどうぞ。



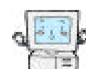
４　電話を切る

➡　９　を押して電話を切る。または電話を切る。

■　登録するＩＤの入力確認のあとの案内が違っている
➡　登録するＩＤが呼出設定していないときは、「コメントの録音は　１、終了は　９　をどうぞ。」に案内が変わります。

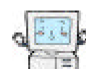
■　手順１のあとの案内が違っている
➡　呼出の設定が
・電話になっているときは”電話への呼出を受け付けました。”になります。
・メールになっているときは”メールへの呼出を受け付けました。”になります。
・ＰＢになっていて、システム情報設定画面のポケットベルメッセージ入力が０（無）で設定されているときは”ポケットベルへの呼出を受け付けました。”になります。

■　手順２で　＃　のみを押したときは
➡　システム情報設定画面で設定しているポケットベル基本メッセージがポケットベルへのメッセージとなります。

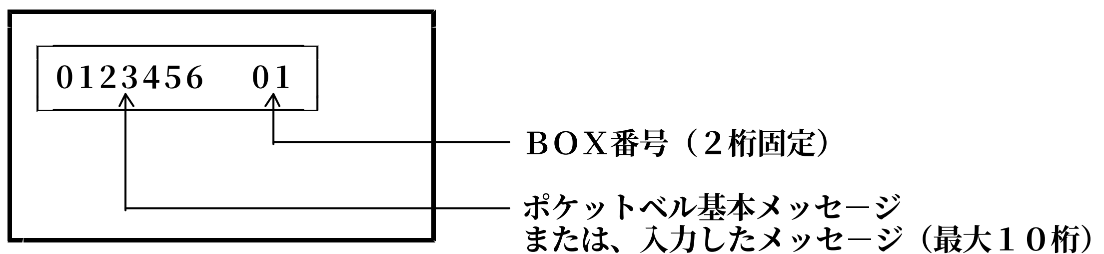


■　手順２のメッセージを入力するときは
➡　０　～　９　までの数字キーのみ有効となります。

■　手順３を行わずに電話を切ったときは
➡　システム情報設定画面で設定しているポケットベル基本メッセージがポケットベルへのメッセージとなります。
➡　ポケットベルへは、ポケットベル基本メッセージと録音されたＢＯＸ番号を表示します。



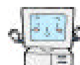
ポケットベル表示（例）

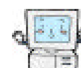


➡　呼び出し専用（ディスプレイ無）ポケットベルの場合は、メッセージ表示は行いません。

ご注意

➡　次の設定をしていないと、ポケットベルまたは携帯電話等を呼出できません。

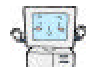
①　システム初期画面で専用回線を設定してしない。 

②　ＩＤ登録画面でポケットベルまたは携帯電話等を呼出するように設定されていない電話からの操作で設定する場合は、項”メールサービス１　ポケットベルまたは携帯電話等を呼出すための設定をする”を参照してください。 
（☞　５８ページ）

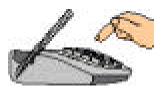
➡　携帯電話を呼出したとき、ビーバステーション経由（携帯発信）で呼出されると、トーン信号が正常に出力されずにメッセージが聞き取れない場合がありますのでそのときは、一旦、呼び出された方は電話を切ってＥＲＲＤに電話をかけ、聞き取りを行ってください。

メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ

●ＩＤ区分が内部で登録されている方がメールサービスを利用するときは、次のように操作します。
●外線から、操作するときは専用回線が必要です。



サービスを利用するには



1　ＥＲＲＤ への電話番号または内線番号をダイヤルする

案内　あなたのＩＤをどうぞ。



2　自分のＩＤ番号 を押す

案内　ＩＤ　自分のＩＤ番号　ですね。暗証番号をどうぞ。



3　暗証番号 を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。

➡　暗証番号を設定していないときは省略する。



4　メニュー番号　を押す

➡　選んだメニューに移る。

5　案内に合わせて操作する



6　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　他のメニューを利用、続けて操作するときは手順４から操作します。

■　手順３は
➡　一致しない番号を押したり、押さないままでいると再度、案内が聞こえますので正しい番号を押します。３回目の案内で暗証番号が一致しないときは回線が切断されます。

■　メニュー番号がわからないときは
➡　手順４で、０ を押すとメニュー内容が流れます。

■　手順１～３について
➡　以降に記述されているメールサービス１の各操作説明において手順１～３は省略して記述してあります。本項の手順１～３を参照してください。

■　ＩＤが自動受注の場合は
➡　手順４で再生が始まり、メニューの操作はできません。
すべてのメッセージを再生した場合は手順２に戻ります。

■　ＩＤを変更するには
➡　手順４で ＊ を押すと手順２に戻ります。

メールサービス１のメニュー番号

● 自分あてのメッセージを聞く ……………… １
（３４ページ）

● 相手にメッセージを録音する ……………… ２
（３５ページ）

● 複数のＩＤに同じメッセージを録音する …… ３
（グループ同報）
（３６ページ）

● 登録したメッセージを
相手が聞いているか確認する ……………… ４
（３７ページ）

● 行き先を設定、確認する …………………… ５
（３８ページ）

● 着信代行で録音されたメッセージを聞く …… ６
（３９ページ）

● 一斉同報メッセージの設定をする ………… ８１
（４２ページ）

● 電話を転送する …………………………… ８２
（４５ページ）

● 音声メール応答音声の設定をする ………… ８３
（４６ページ）

● 着信代行の設定をする …………………… ８４
（４９ページ）

● 録音先を指定せずに切った
通話内容を聞く（宛先不明） ……………… ８５
（５６ページ）

● 暗証番号の設定をする …………………… ８６
（５７ページ）

● ポケットベルまたは携帯電話等を
呼出すための設定をする ………………… ８７
（５８ページ）

● メールを送信する ………………………… ８８
（５９ページ）

再生中にできる操作（録音されたメッセージの再生中に押せる操作）

1　前スキップ
●　現在再生しているメッセージの１つ前のメッセージを最初から聞くとき。

2　リピート
●　現在再生しているメッセージを最初から聞くとき。

3　後スキップ
●　現在再生しているメッセージの１つ後のメッセージを最初から聞くとき。

4　巻戻し（約１０秒前に戻って再生）
●　現在再生しているメッセージを１０秒巻き戻すとき。

5　高速再生
●　速く再生したいとき。もう一度押すと元の速度に。

6　早送り（約１０秒先に進んで再生）
●　現在再生しているメッセージを１０秒早送りするとき。

7　削除　　※1
●　現在再生しているメッセージを消すとき。
（ 9 で永久保存指定しているメッセージも削除できます。）

8　応答返却
●　現在再生しているメッセージを録音した相手にメッセージを返却するとき。

9　保存
●　現在再生しているメッセージを永久に保存するとき。

＊　取消
●　設定をやめるときや間違えたとき、別のメニューを選ぶとき。

0　案内
●　再生時のメニュー案内が流れます。

＃　メッセージ転送　　※2
●　現在再生しているメッセージを他のＩＤに転送するとき。

※1　7 を押すと削除の確認の案内が流れますので、削除するときは 5 を押します。
取り消すときは 0 を押します。

※2　＃ を押すとＩＤ番号入力の案内が流れますので、転送先のＩＤ番号を押します。
その後、確認の案内が流れますのでメッセージ転送を実行するときは 5 を押します。メッセージ転送を取り消すときは 0 を押します。

☆　一斉同報再生中のときは、７・８・９・＃ の操作は行えません。

☆　着信代行再生中、宛先不明再生中のときは、８・９ の操作は行えません。

☆　録音後の確認再生中のときは、操作は行えません。（一斉同報録音など）

メールサービス1　自分あてのメッセージを聞く

●自分あてのメッセージを聞くときは、次のように操作します。
●メッセージは指定したＢＯＸが再生されます。

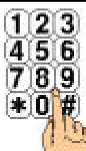
メッセージを聞くには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



４　１ を押す

案内　メッセージ再生ですね。ボックスをどうぞ。



５　ＢＯＸ番号 を押す

➡　全て再生したい場合は ０ ０ 、未再生のみ再生したいときは ＃ ＃ を押す。



６　メッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュー番号をどうぞ。

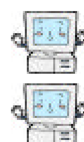


７　電話を切る

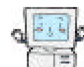
➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　メッセージが吹き込まれていないときは
➡　「メッセージはありません。」が聞こえるので電話を切るか、他のメニューを選びます。

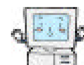
■　手順５で ０ ０、＃ ＃ を押したときは
➡　一斉同報メッセージがあるときは、「一斉同報は×件です。」のあと一斉同報メッセージが聞こえ、次に「メッセージは×件です。」のあと、個別メッセージが聞こえます。但し、ＩＤ番号が個別モニタ状態未表示で登録されている場合は、一斉同報メッセージは再生しません。
➡　＃ ＃ を押した場合、システムの設定にて未再生メッセージ再生案内が１のときは「メッセージは×件です。」が「未再生メッセージは×件です。」に変わります。
➡　一斉同報メッセージがないときは、「メッセージは×件です。」のあと個別メッセージが聞こえます。



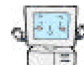
■　手順４での案内が違っている
➡　システム情報設定画面にてＢＯＸ番号の入力が省略されているときは、「メッセージ再生ですね。」になり、手順５で ０ ０ を押したときと同じ状態になります。



■　それぞれのメッセージのまえに
➡　録音されたＢＯＸ番号、日時「ボックス××、××月××日××時××分」が聞こえます。（日時は設定により変更可能）



■　それぞれのメッセージの最後に
➡　システム情報設定画面にて音声再生後案内再生を１（有）で設定していると「案内は ０、後スキップは ３、削除は ７、応答返却は ８、転送は ＃ をどうぞ」が聞こえ、メッセージ再生後に操作が行えます。約５秒間何も操作がないと次のメッセージを再生します。



メールサービス1　相手にメッセージを録音する

●他の人に、メッセージを吹き込むときは次のように操作します。
●１つのＩＤに録音可能なメッセージ数は最大９９です。

相手にメッセージを吹き込むには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）

2


４　２ を押す

案内　録音ですね。相手のＩＤをどうぞ。



５　相手のＩＤ番号 を押す

案内　ＩＤ 相手のＩＤ番号 ですね。＃ を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら ＊ をどうぞ。

#


６　＃ を押す

案内　ピッ。



７　メッセージを吹き込む

*


８　＊ を押す

案内　呼出は ５、しない場合は ０ をどうぞ

➡　呼出設定がなしのとき、または強制呼出が有りのときは省略する。

0


９　０ を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



１０　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　呼出をなしまたは、強制呼出で設定されていると
➡　手順８の案内が「メニュー番号をどうぞ。」に変わります。

■　手順８を行わずに電話を切ったときは　➡　メッセージは保証されません。

■　呼出をしたいときは　➡　手順９で ５ を押し、案内に従って操作します。

■　録音時間は
➡　システム情報設定画面で設定された録音時間まで録音できます。
（録音する相手の区分により録音時間が異なります。）

メールサービス1　複数のIDに同じメッセージを録音する(グループ同報)

●メッセージを１度録音するだけで複数のＩＤに同じメッセージを録音することができます。
　但し、グループ同報登録画面にてグループ登録されている必要があります。



メッセージを吹き込むには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



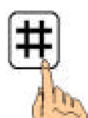
４　３ を押す

案内　グループ同報ですね。グループ番号をどうぞ。



５　グループ番号 を押す

案内　グループ番号 グループ番号 ですね。# を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら ＊ をどうぞ。

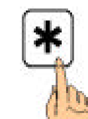


６　# を押す

案内　ピッ。



７　メッセージを吹き込む



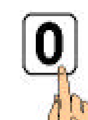
８　＊ を押す

案内　録音された音声を再生します。［メッセージ］よろしければ ５、再録音は ０ をどうぞ。



９　５ を押す

案内　呼出は ５、しない場合は ０ をどうぞ。



１０　０ を押す

案内　登録しました。
メニュー番号をどうぞ。



１１　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　手順８、９を行わずに電話を切ったときは　➡　メッセージは登録されません。

■　呼出をしたいときは
➡　手順１０で ５ を押します。但し、呼出をなしで設定しているＩＤに呼出は行いません。

■　相手のＢＯＸがいっぱいのときは　➡　録音されません。

■　録音時間は　➡　最大１分です。

メールサービス１　登録したメッセージを相手が聞いているか確認する

●自分が登録した通話内容または、吹き込んだメッセージを相手が聞いているか確認したいときは次のように操作します。

再生確認するには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



４　４ を押す

案内　再生確認ですね。相手のＩＤをどうぞ。



５　相手のＩＤ番号 を押す

➡　最初に『 ＩＤ 相手のＩＤ番号 ですね。未再生のメッセージは・・』が聞こえ、相手に対し、自分が登録した未再生メッセージのＢＯＸ番号が聞こえます。

案内　以上です。呼出は ５ しない場合は ０ をどうぞ。



６　０ を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。

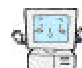


７　電話を切る

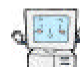
➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　未再生メッセージがないときは
➡　「未再生のメッセージはありません。」の案内が聞こえます。

■　それぞれのメッセージのまえに
➡　録音されたＢＯＸ番号、日時「ボックス××、××月××日××時××分」が聞こえます。（日時は設定により変更可能）

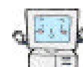


■　ＩＤ登録画面で呼出をなしで設定していると
➡　手順５での案内が「以上です。メニュー番号をどうぞ。」に変わります。



■　呼出をしたいときは
➡　手順６で ５ を押し、案内に従って操作します。

メールサービス1　行き先を設定、確認する



●自分の状態を設定しておくことにより、他の人が電話、または画面から状態を確認することができます。また、状態を音声で設定することもできます。
録音以外であれば画面でも設定、確認できます。
●メッセージを吹き込める時間は、システム情報設定の録音可能時間までです。

自分の状態を設定するには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



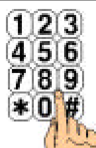
４　５ を押す

案内　状態メンテナンスですね。設定は １、確認は ２ をどうぞ。



５　１ を押す

案内　設定ですね、在社は ０、退社は １、休暇は ２、出張は ３、会議は ４、不在は ５、車両は ６、外出は ７、 録音は ９ をどうぞ。



６　コード番号 を押す

案内　［コード番号に対するメッセージ］に設定しました。
メニュー番号をどうぞ。



７　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　コード番号を間違えたときは　➡　手順４から再操作します。

■　状態録音メッセージを吹き込みたい場合は
➡　手順５で ９ を押し「状態録音ですね、＃ を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら ＊ をどうぞ。」と案内が聞こえたら状態録音メッセージを吹き込みます。

■　手順６で ６ を押したときは
➡　「車両番号をどうぞ」が流れますので４桁で車両番号を押します。

相手の状態を確認するには

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　３０ページ）



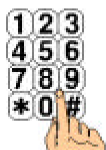
4　5 を押す

案内 状態メンテナンスですね。設定は 1、確認は 2 をどうぞ。



5　2 を押す

案内 確認ですね、相手のＩＤをどうぞ。



6　相手のＩＤ番号 を押す

案内　ＩＤ 相手のＩＤ番号 の方は、［コード番号メッセージ］です。
メニュー番号をどうぞ。



7　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　相手のＩＤ番号を間違えたときは
➡　手順4から再操作します。

■　相手の状態が録音のときは
➡　手順6の案内で［コード番号に対するメッセージ］のあとに録音メッセージが聞こえます。

メールサービス1　着信代行で録音されたメッセージを聞く

●着信代行で録音されたメッセージを聞くときは、次のように操作します。

録音されたメッセージを聞くには

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　３０ページ）



4　６ を押す

案内　着信代行の再生ですね。暗証番号をどうぞ。



5　着信代行暗証番号 を押す

案内　ボックスをどうぞ。

➡　暗証番号を設定していないときは省略する。



6　ＢＯＸ番号 を押す

➡　予備番号”００”以外のときは ＃ 予備番号 を押し、予備番号を切り替えてから ＢＯＸ番号 を押す。
➡　全て再生したい場合は ０ ０ を押す。



7　メッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュー番号をどうぞ。

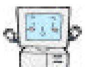


8　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　メッセージが吹き込まれていないときは
➡　「メッセージはありません。」が聞こえるので、電話を切るか、他のメニューを選びます。

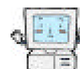
■　それぞれのメッセージのまえに
➡　録音されたＢＯＸ番号、日時「ボックス××、××月××日××時××分」が聞こえます。（日時は設定により変更可能）



■　着信代行で録音されたメッセージを任意のＩＤに転送したいとき
➡　再生中の操作または、着信代行一覧画面の転送機能にて操作します。
（☞　再生中にできる操作　３２ページ）

■　着信代行で録音されたメッセージを削除したいとき
➡　再生中の操作または、着信代行一覧画面の削除機能にて操作します。
（☞　再生中にできる操作　３２ページ）

■　着信代行で録音できるメッセージ数を変更したいとき
➡　システム情報設定画面の着信代行予備使用数にて設定します。



■　それぞれのメッセージの後に
➡　システム情報設定画面にて音声再生後案内再生を１（有）で設定していると「案内は ０、後スキップは ３ 、削除は ７、転送は ＃ をどうぞ」が聞こえ、メッセージ再生後に操作が行えます。約５秒間何も操作がないと次のメッセージを再生します。



■　手順6で　０　０　を押したときは

➡　「メッセージは×件です。」のあとにメッセージが聞こえます。
着信代行予備があれば、そのあとに「予備番号××に切り替えました。」が聞こえ、予備番号のメッセージが再生されます。

■　着信代行予備番号を再生したいとき

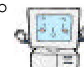
➡　「ボックスをどうぞ。」が聞こえたら、＃　のあとに、切り替えたい予備番号を押します。

（例１）予備番号０１に切り替えたいとき
「ボックスをどうぞ。」が聞こえたら、＃　０　１　と押します。

（例２）予備番号３０に切り替えたいとき
「ボックスをどうぞ。」が聞こえたら、＃　３　０　と押します。

メールサービス1　一斉同報メッセージの設定をする

●メッセージを１度録音するだけで、全てのＩＤに同じメッセージを録音することができます。
　但し、ＩＤ区分が内部（０）で登録されている方だけです。



一斉同報メッセージを聞くには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



４　８　１　を押す

案内　一斉同報メンテナスですね。再生は　１、録音は　２、削除は　３　をどうぞ。



５　１　を押す

案内　再生ですね。ボックスをどうぞ。



６　ＢＯＸ番号　を押す



７　メッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュー番号をどうぞ。



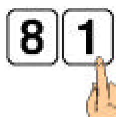
８　電話を切る

➡　９　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

●一斉同報メッセージを吹き込むときは、次のように操作をします。

一斉同報メッセージを吹き込むには

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　30ページ）



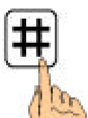
4　8　1　を押す

案内　一斉同報メンテナスですね。再生は　1、録音は　2、削除は　3　をどうぞ。



5　2　を押す

案内　録音ですね。＃　を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら　＊　をどうぞ。

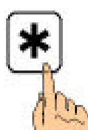


6　＃　を押す

案内　ピッ。



7　メッセージを吹き込む



8　＊　を押す

案内　録音された音声を再生します。［メッセージ］よろしければ　5、再録音は　0　をどうぞ。



9　5　を押す

案内　一斉同報ボックスは××です。メニュー番号をどうぞ。

➡　BOX番号を忘れないように。メッセージを消す場合に必要となります。



10　電話を切る

➡　9　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　メッセージを間違えたときは
➡　手順9で　0　を押し、手順6から再吹き込みします。

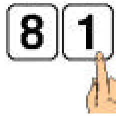
■　手順8、9を行わずに電話を切ったときは　➡　メッセージは保証されません。

■　録音時間は　➡　システム情報設定画面で設定された時間までです。

●吹き込んだ一斉同報メッセージを消したいときは、次のように操作をします。

一斉同報メッセージを消すには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



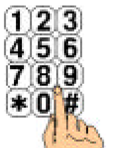
４　８　１　を押す

案内　一斉同報メンテナスですね。再生は　１、録音は　２、削除は　３　をどうぞ。



５　３　を押す

案内　削除ですね。ボックスをどうぞ。



６　自分が吹き込んだ　ＢＯＸ番号　を押す

案内　ボックス　ＢＯＸ番号　ですね。よろしければ　５、誤りであれば　０　をどうぞ。



７　５　を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。

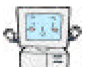


８　電話を切る

➡　９　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　一斉同報メッセージは
➡　一斉同報メッセージを消すことのできるのは、吹き込んだＩＤ番号の方だけで、他のＩＤ番号の方が消すことはできません。

■　ＢＯＸ番号を間違えたときは
➡　手順７にて「入力されたＢＯＸはあなたでは削除できません。」と流れます。画面にてＢＯＸ番号を確認して再操作します。



■　メッセージを消さなくても
➡　音声情報メンテナンスにて、一斉同報情報有効日数を超過した時点で削除されます。

メールサービス1　電話を転送する

●専用回線に電話をかけメッセージを聞いた後にＩＤ番号の登録されている方と会話をしたい場合は、次のように操作します。
内線回線が必須です。内線回線がない場合は、この機能は利用できません。

転送により会話を行うには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



４　８　２ を押す

案内　電話転送ですね。電話転送先ＩＤをどうぞ。



５　転送先ＩＤ番号 を押す

案内　ＩＤ 転送先ＩＤ番号 ですね。よろしければ ５、誤りであれば ０ をどうぞ。



６　５ を押す

案内　只今、呼出しております。しばらくお待ちください。［保留音］
案内　おつなぎします。



７　会話をする



８　電話を切る

■　相手のＩＤ番号を間違えたときは
➡　手順６で ０ を押し、手順５から再操作します。

■　相手が話中または、応答がなかったときは
➡　相手が応答しなかった旨の案内が流れ、メニューの案内からの再操作となります。

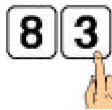
■　内線が使用中で空きがなかったら
➡　「通話中です。」の案内が流れ、メニューの案内からの再操作となります。

メールサービス1　音声メール応答音声の設定をする

●音声メール回線で応答する音声を再生するには、次のように操作します。
●音声メール回線とは、お客様などのための録音専用線です。

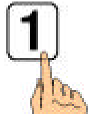
音声メール応答音声を聞くには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



4　８　３　を押す

案内　音声メール応答メンテナンスですね。再生は　１、録音は　２、削除は　３をどうぞ。



5　１　を押す

案内　再生ですね。日本語は　１、英語は　２　をどうぞ。



6　１　を押す



7　録音されたメッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュー番号をどうぞ。



8　電話を切る

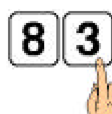
➡　９　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　システム情報設定画面にて、音声メールガイダンス設定を全て１（日本語）で設定している場合は
➡　手順５の案内、手順６の操作はなく、日本語の応答音声が再生されます。

●音声メール回線で応答する音声を吹き込むためには、次のように操作します。

音声メール応答音声を吹き込むには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



４　８　３ を押す

案内　音声メール応答メンテナンスですね。再生は 1、録音は 2、削除は 3 をどうぞ。



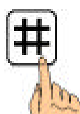
５　２ を押す

案内　録音ですね。日本語は 1、英語は 2 をどうぞ。



６　１ を押す

案内　# を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら ＊ をどうぞ。

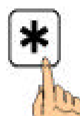


７　# を押す

案内　ピッ。



８　応答音声を吹き込む



９　＊ を押す

案内　録音された音声を再生します。［メッセージ］よろしければ 5、再録音は 0 をどうぞ。



１０　５ を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



１１　電話を切る
➡ ９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡ 続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　メッセージを間違えたときは　➡　手順１０で ０ を押し、手順７から再吹き込みします。

■　手順９、１０を行わずに電話を切ったときは　➡　メッセージは保証されません。

■　メッセージを英語で録音するときは　➡　手順６で ２ を押します。
（メッセージは日本語、英語それぞれ１種類ずつしか録音できません。）

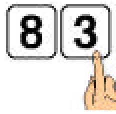
■　システム情報設定画面にて、音声メールガイダンス設定を全て１（日本語）で設定している場合は
➡ 手順５の案内、手順６の操作はなく、日本語の応答音声を録音します。

■　録音時間は　➡　日本語、英語とも２分です。

●音声メール回線で応答する音声を削除するには、次のように操作します。

音声メール応答音声を消すには

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　30ページ）



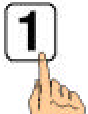
4　8　3　を押す

案内　音声メール応答メンテナンスですね。再生は 1、録音は 2、削除は 3 をどうぞ。



5　3　を押す

案内　削除ですね。日本語は 1、英語は 2 をどうぞ。



6　1　を押す

案内　日本語の削除ですね。よろしければ 5、誤りであれば 0 をどうぞ。



7　5　を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



8　電話を切る

➡　9　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　削除しない場合は　➡　手順7で 0 を押します。

■　英語の音声を削除する場合は　➡　手順6で 2 を押します。

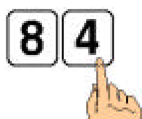
■　システム情報設定画面にて、音声メールガイダンス設定を全て1（日本語）で設定している場合は
➡　手順5の案内、手順6の操作はなく、日本語の応答音声を削除します。

メールサービス1　着信代行の設定をする

●着信代行の応答音声を聞くときは、次のように操作します。

着信代行応答音声を聞くには

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　３０ページ）



4　8　4　を押す

案内　着信代行メンテナンスですね。応答再生は　1、応答録音は　2、呼出設定は　3、設定は　4、解除は　5、設定確認は　6　をどうぞ。



5　1　を押す

案内　応答再生ですね。音声番号をどうぞ。



6　音声番号　を押す

案内　音声番号　音声番号　［メッセージ］



7　メッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュー番号をどうぞ。

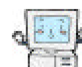


8　電話を切る

➡　9　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　音声番号は

➡　指定できる音声番号は、０１～１１までです。但し、音声番号１１はシステム情報設定画面の着信代行受注設定が１（有）のときのみ有効です。（自動受注時の音声）



■　応答音声が録音されていないときは

➡　手順6の案内にて「音声番号××、録音されていません。」が流れますので、手順5から再操作します。

●着信代行で応答する音声を吹き込むときは、次のように操作します。
●録音可能な応答音声数は最大１１件です。

着信代行応答音声を吹き込むには

手順1～3は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　３０ページ）



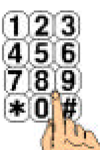
4　8　4　を押す

案内　着信代行メンテナンスですね。応答再生は　1、応答録音は　2、呼出設定は　3、設定は　4、解除は　5、設定確認は　6　をどうぞ。



5　2　を押す

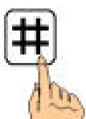
案内　応答録音ですね。音声番号をどうぞ。



6　音声番号　を押す

➡　着信代行受注音声を録音するときは”１１”を押します。

案内　音声番号 音声番号 ですね。#　を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら　＊　をどうぞ。

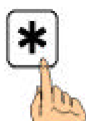


7　#　を押す

案内　ピッ。



8　応答音声を吹き込む



9　＊　を押す

案内　録音された音声を再生します。［メッセージ］よろしければ　5、再録音は　0　をどうぞ。



10　5　を押す

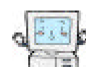
案内　メニュー番号をどうぞ。



11　電話を切る

➡　9　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　音声番号は
➡　指定できる音声番号は、０１～１１までです。但し、音声番号１１はシステム情報設定画面の着信代行受注設定が１（有）のときのみ有効です。（自動受注時の音声）



■　手順9、10を行わずに電話を切ったときは
➡　メッセージは保証されません。

■　録音時間は
➡　システム情報設定画面で設定された時間までです。

●着信代行でポケットベル、携帯電話などの呼出を設定するには、次のように操作します。
●次のように設定した場合、着信代行にてメッセージが録音されると呼出します。
画面でも操作できます。



着信代行録音時に呼出すようにセットするには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



４　８　４ を押す

案内　着信代行メンテナンスですね。応答再生は １、応答録音は ２、呼出設定は ３、設定は ４、解除は ５、設定確認は ６ をどうぞ。



５　３ を押す

案内　ポケットベル表示有りは １、電話は ２、ポケットベル表示無しは ３、メールは ４、取消は ５、確認は ６ をどうぞ。



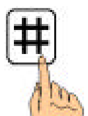
６　１ を押す

➡ 携帯電話などの場合はここで ２ を押します。
➡ メールの場合はここで ４ を押します。

案内　ポケットベル表示有り(電話、メール)ですね。呼出番号を入力し、最後に ＃ をどうぞ。



７　呼出番号 を押す



８　＃ を押す

案内　呼出番号 ですね。よろしければ ５、誤りであれば ０ どうぞ



９　５ を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



１０　電話を切る

➡ ９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡ 続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　手順６で ６ を押したとき
➡ 現在の設定状況の確認ができます。呼出なしのときは「未設定です。」が聞こえます。

■　手順６で ５ を押したとき　➡ 呼出の取消ができます。

■　呼出番号は
➡ 指定できる番号は、１～２０桁です。但し、電話から＊、＃は入力が行えません。

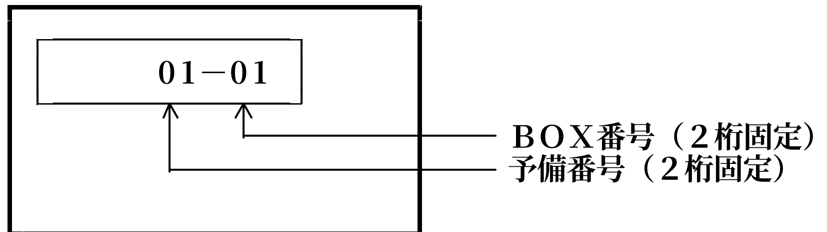
■　呼出番号を間違えたときは　➡ 手順９で ０ を押し、手順７から再操作します。

■　ポケットベルの表示は

➡　ポケットベルは録音された予備番号とＢＯＸ番号を表示します。

➡　予備番号００は基本番号です。

ポケットベル表示（例）



➡　呼び出し専用（ディスプレイ無）ポケットベルの場合は、メッセージ表示は行いません。

●着信代行を設定するときは、次のように操作します。
●設定するときは、着信代行応答音声を録音後に設定します。
●終日指定を設定した曜日は、設定した時刻に関わらず着信代行サービスを起動します。
電話からの時刻設定は、行えません。

着信代行終日を設定

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　３０ページ）



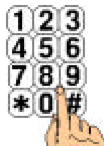
4　8　4　を押す

案内　着信代行メンテナンスですね。応答再生は　1、応答録音は　2、呼出設定は　3、設定は　4、解除は　5、設定確認は　6　をどうぞ。



5　4　を押す

案内　設定ですね。終日設定と音声番号をどうぞ。



6　終日指定　音声番号　を押す（１０桁固定）

案内　終日1　日曜　音声番号　0　2　ですね。よろしければ　5、誤りであれば　0　をどうぞ

➡　①現在曜日から７日間を設定します。
終日番号を押します。終日番号は、終日１が1、終日２が2、終日３が３です。（1桁）
②曜日ごとの設定を行います。終日行う場合は1、行わない場合は0、を押します。（7桁曜日分）
③送出する音声番号を入力します。（2桁）

例　本日が月曜日で土曜日、日曜日を終日1、音声番号０２で設定する場合は、下図の様に入力します。

1　0　0　0　0　0　1　1　0　2　と押します。

終日番号（1）　月　火　水　木　金　土　日（曜日種別：0 0 0 0 0 1 1）　音声番号（0 2）



7　5　を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



8　電話を切る

➡　9　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　終日2、終日3の設定を行うには
➡　手順6にて　2　または、3　を押してから曜日を押します。

●着信代行の設定を解除したいときは、次のように操作します。
●解除したときは、着信代行サービスは行いません。

着信代行の設定を解除

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



４　８　４　を押す

案内　着信代行メンテナンスですね。応答再生は　1、応答録音は　2、呼出設定は　3、設定は　4、解除は　5、設定確認は　6　をどうぞ。



５　５　を押す

案内　解除ですね。よろしければ　5、誤りであれば　0　をどうぞ。



６　５　を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



７　電話を切る

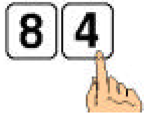
➡　９　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　手順６で　０　を押したときは
➡　手順４の案内が流れ、手順５からの再操作となります。

●着信代行の設定内容を確認したいときは、次のように操作します。

着信代行の設定内容を確認

手順1～3は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　３０ページ）



4　８　４　を押す

案内　着信代行メンテナンスですね。応答再生は　１、応答録音は　２、呼出設定は　３、設定は　４、解除は　５、設定確認は　６　をどうぞ。



5　６　を押す

案内　終日１は×曜、×曜、・・音声番号××、終日２は×曜、×曜、・・音声番号××、終日３は×曜、×曜、・・音声番号××　以上です。メニュー番号をどうぞ。

➡　確認は、現在曜日から７日間のみ確認できます。



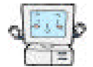
6　電話を切る

➡　９　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　設定されていないときは
➡　手順5の案内にて「未設定です。」が聞こえます。

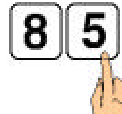
メールサービス1　録音先を指定せずに切った通話内容を聞く（宛先不明）

●録音先を指定せずに切ってしまった内容を聞くときは、次のようにします。
●録音先を指定するには、宛先不明情報一覧画面にて操作します。



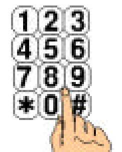
通話内容を聞くには

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　30ページ）



4　8　5　を押す

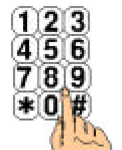
案内　宛先不明の再生ですね。暗証番号をどうぞ。



5　宛先不明暗証番号　を押す

➡　宛先不明暗証番号を設定していないときは省略する。

案内　日付を入力し最後に　#　をどうぞ。



6　日付　#　を押す

➡　個別で再生したい場合は　日付　0　～　9　を押す。



7　メッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュ－番号をどうぞ。



8　電話を切る

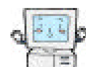
➡　9　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　宛先不明機能を使用していないときは
➡　手順4の案内で、「その機能はサポ－トされていません。」に案内が変わり、操作は行えません。

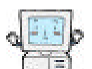
■　メッセージが吹き込まれていないときは
➡「メッセ－ジはありません。」が聞こえるので、電話を切るか、他のメニュ－を選びます。

■　手順6で　日付　0　～　9　を押したときは
➡　先頭のＢＯＸから９９ＢＯＸごとの単位で９９ＢＯＸ分の再生を行います。
例えば、日付　2　と押した場合は１９９～２９７ＢＯＸ目を再生します。

■　それぞれのメッセージのまえに
➡　録音されたＢＯＸ番号、日時「××月××日××時××分」が聞こえます。
（日時は設定により変更可能）



■　それぞれのメッセージの後に
➡　システム情報設定画面にて音声再生後案内再生を１（有）で設定していると「案内は０、後スキップは　３　、削除は　７、転送は　#　をどうぞ」が聞こえ、メッセージ再生後に操作が行えます。約５秒間何も操作がないと次のメッセージを再生します。

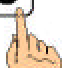


メールサービス1　暗証番号の設定をする

●暗証番号を設定するときや変更したいときは、次のように操作します。
画面でも操作できます。 

暗証番号をセットするには

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　30ページ）



4　8　6　を押す

案内　暗証番号の設定ですね。4ケタでどうぞ。



5　暗証番号　を押す

案内　暗証番号　ですね。よろしければ　5、誤りであれば、0　をどうぞ。



6　5　を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



7　電話を切る

➡　9　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

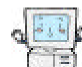
■　暗証番号を間違えたときは
➡　手順6で　0　を押し、手順5から再操作します。

■　手順6の操作を行わないで電話を切ったときは
➡　暗証番号は設定されません。

■　暗証番号をなしにしたいときは
➡　ＩＤ登録画面での操作となります。 

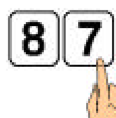
メールサービス1　ポケットベルまたは携帯電話等を呼出すための設定をする

●次のようにセットした場合、自分のＩＤにメッセージが録音された場合に呼出指示されると、ポケットベルまたは携帯電話などを呼出します。
画面でも操作できます。



呼出するようにセットするには

手順１～３は、項”メールサービス１　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　３０ページ）



４　８　７ を押す

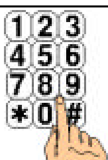
案内　呼出メンテナンスですね。ポケットベル表示有りは １、電話は ２、ポケットベル表示無しは ３、メールは ４、取消は ５、確認は ６ をどうぞ。



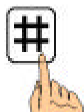
５　１ を押す

➡ 携帯電話などの場合はここで ２ を押します。
➡ メールの場合はここで ４ を押します。

案内　ポケットベル表示有り(電話、メール)ですね。呼出番号を入力し、最後に ＃ をどうぞ。



６　呼出番号 を押す



７　＃ を押す

案内　呼出番号 ですね。よろしければ ５、誤りであれば ０ どうぞ



８　５ を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



９　電話を切る

➡ ９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡ 続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　手順５で ６ を押したとき
➡ 現在の設定状況の確認ができます。呼出なしのときは「未設定です。」が聞こえます。

■　手順５で ５ を押したとき　➡ 呼出の取消ができます。

■　呼出番号は
➡ 指定できる番号は、１～２０桁です。但し、電話から＊、＃は入力が行えません。

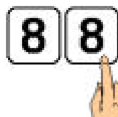
■　呼出番号を間違えたときは
➡ 手順８で ０ を押し、手順６から再操作します。

メールサービス1　メールを送信する

●登録されている定型文をメール送信したいときは次のように操作します。

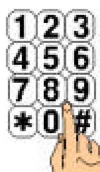
定型文を送信する

手順1～3は、項”メールサービス1　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　30ページ）



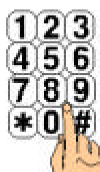
4　8 8 を押す

案内　メール送信ですね。相手のＩＤをどうぞ。



5　相手のＩＤ番号 を押す

案内　相手のＩＤ番号 ですね、定型文番号をどうぞ。



6　定型文番号 を押す

案内　定型文番号 ですね、よろしければ ５、誤りであれば ０ をどうぞ。



7　5 を押す

案内　メール送信を受け付けました。メニュー番号をどうぞ。



8　電話を切る

➡　9 を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　定型文番号を間違えたときは
➡　手順7で ０ を押し、手順6から再操作します。

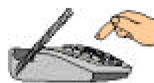
■　手順7を行わずに電話を切ったときは　➡　メールは送信されません。

■　メールを送信する相手の呼出種別がメール（３）に設定されていないときは
➡　手順5の案内が 相手のＩＤ番号 ですね、未設定です。」に変わり、手順５からの再操作となります。

メールサービス２　サービスを利用するときのまとめ

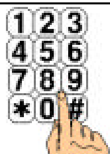
●ＩＤ区分が外部で登録されている方がメールサービスを行うときは、次のように操作します。

サービスを利用するには



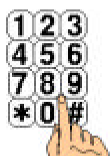
１　ＥＲＲＤ への電話番号をダイヤルする

案内　あなたのＩＤをどうぞ。



２　自分のＩＤ番号 を押す

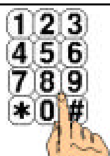
案内　ＩＤ　自分のＩＤ番号　ですね。暗証番号をどうぞ。



３　暗証番号 を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。

➡　暗証番号を設定していないときは省略する。



４　メニュー番号　を押す

➡　選んだメニューに移る。

５　案内に合わせて操作する



６　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　他のメニューを利用、続けて操作するときは手順４から操作します。

■　手順３は
➡　一致しない番号を押したり、押さないままでいると再度、案内が聞こえますので正しい番号を押します。３回目の案内で暗証番号が一致しないときは回線が切断されます。

■　メニュー番号がわからないときは
➡　手順４で ０ を押すとメニュー内容が流れます。

■　手順１～３について
➡　以降に記述されているメールサービス２の各操作説明において手順１～３は省略して記述してあります。このページの手順１～３を参照してください。

メールサービス２のメニュー番号

● 自分あてのメッセージを聞く ･････････････････ （６３ページ）	１
● 相手にメッセージを録音する ･････････････････ （６４ページ）	２
● 複数のＩＤに同じメッセージを録音する ･･････ （グループ同報） （６５ページ）	３
● 登録したメッセージを相手が 聞いているか確認する ･･････････････････････ （６６ページ）	４
● メールを送信する ･････････････････････････ （６７ページ）	５
● 音声メール応答音声の設定をする ････････････ （６８ページ）	６
● 暗証番号の設定をする ･････････････････････ （７１ページ）	７

再生中にできる操作（録音されたメッセージの再生中に押せる操作）

１　前スキップ
● 現在再生しているメッセージの１つ前のメッセージを最初から聞くとき。

２　リピート
● 現在再生しているメッセージを最初から聞くとき。

３　後スキップ
● 現在再生しているメッセージの１つ後のメッセージを最初から聞くとき。

４　巻戻し（約１０秒前に戻って再生）
● 現在再生しているメッセージを１０秒巻き戻すとき。

５　高速再生
● 速く再生したいとき。もう一度押すと元の速度に。

６　早送り（約１０秒先に進んで再生）
● 現在再生しているメッセージを１０秒早送りするとき。

７　削除　　※１
● 現在再生しているメッセージを消すとき。
（ ９ で永久保存指定しているメッセージも削除できます。）

８　応答返却
● 現在再生しているメッセージを録音した相手にメッセージを返却するとき。

９　保存
● 現在再生しているメッセージを永久に保存するとき。

＊　取消
● 設定をやめるときや間違えたとき、別のメニューを選ぶとき。

０　案内
● 再生時のメニュー案内が流れます。

＃　メッセージ転送　　※２
● 現在再生しているメッセージを他のＩＤに転送するとき。

※１　７ を押すと削除の確認の案内が流れますので、削除するときは ５ を押します。
取り消すときは ０ を押します。

※２　＃ を押すとＩＤ番号入力の案内が流れますので、転送先のＩＤ番号を押します。
その後、確認の案内が流れますのでメッセージ転送を実行するときは ５ を押します。メッセージ転送を取り消すときは ０ を押します。

☆　録音後の確認再生中のときは、操作は行えません。（一斉同報録音など）

メールサービス2　自分あてのメッセージを聞く

●自分あてのメッセージを聞くときは、次のように操作します。
●メッセージは指定したＢＯＸが再生されます。

メッセージを聞くには

手順１～３は、項”メールサービス2　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　５９ページ）



４　１ を押す

案内　メッセージ再生ですね。ボックスをどうぞ。



５　ＢＯＸ番号 を押す

➡　全て再生したい場合は ０ ０ 、未再生のみ再生したいときは ＃ ＃ を押す。



６　メッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュー番号をどうぞ。



７　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　メッセージが吹き込まれていないときは
➡　「メッセージはありません。」が聞こえるので電話を切るか、他のメニューを選びます。

■　手順５で ０ ０ 、＃ ＃ を押したときは
➡　「メッセージは×件です。」が聞こえ、そのあとにメッセージが聞こえます。
➡　設定により応答音声は「メッセージは×件です。」または、「未再生メッセージは×件です。」に変わります。

■　手順４での案内が違っている
➡　設定により案内は、「メッセージ再生ですね。」になり、手順５で ０ ０ を押したときと同じ状態になります。

■　それぞれのメッセージのまえに
➡　録音されたＢＯＸ番号、日時「ボックス××、××月××日××時××分」が聞こえます。（日時の再生部分は設定により変わります。）

■　それぞれのメッセージの最後に
➡　設定により「案内は ０、後スキップは ３ 、削除は ７、応答返却は ８、転送は ＃ をどうぞ」が流れる場合があります。この場合は、メッセージ再生後に操作が行えます。約５秒間何も操作がないと次のメッセージを再生します。

メールサービス2　相手にメッセージを録音する

●他の人に、メッセージを吹き込むときは次のように操作します。

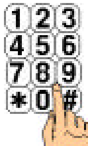
相手にメッセージを吹き込むには

手順1～3は、項”メールサービス2　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　５９ページ）



4　2 を押す

案内　録音ですね。相手のＩＤをどうぞ。



5　相手のＩＤ番号 を押す

案内　ＩＤ 相手のＩＤ番号 ですね。＃ を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら ＊ をどうぞ。



6　＃ を押す

案内　ピッ。



7　メッセージを吹き込む



8　＊ を押す

案内　呼出は 5、しない場合は 0 をどうぞ

➡ 呼出設定がなしのとき、または強制呼出が有りのときは省略する。



9　0 を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



10　電話を切る

➡ 9 を押して電話を切る。または電話を切る。
➡ 続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■ 呼出をなしまたは、強制呼出で設定されていると
➡ 手順8の案内が「メニュー番号をどうぞ。」に変わります。

■ 手順8を行わずに電話を切ったときは　➡ メッセージは保証されません。

■ 呼出をしたいときは
➡ 手順9で 5 を押し、案内に従って操作します。

■ 録音時間は
➡ 録音する相手の区分により録音時間が異なります。

メールサービス2　複数のIDに同じメッセージを録音する(グループ同報)

●メッセージを１度録音するだけで複数のＩＤに同じメッセージを録音することができます。

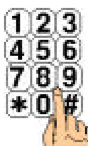
メッセージを吹き込むには

手順１～３は、項”メールサービス2　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　５９ページ）



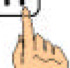
４　３ を押す

案内　グループ同報ですね。グループ番号をどうぞ。



５　グループ番号 を押す

案内　グループ番号 グループ番号 ですね。＃ を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら ＊ をどうぞ。



６　＃ を押す

案内　ピッ。

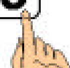


７　メッセージを吹き込む



８　＊ を押す

案内　録音された音声を再生します。［メッセージ］よろしければ ５、再録音は ０ をどうぞ。



９　５ を押す

案内　呼出は ５、しない場合は ０ をどうぞ。



１０　０ を押す

案内　登録しました。
メニュー番号をどうぞ。



１１　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　手順８、９を行わずに電話を切ったときは　➡　メッセージは登録されません。

■　呼出をしたいときは
➡　手順１０で ５ を押します。但し、呼出をなしで設定しているＩＤに呼出は行いません。

■　相手のＢＯＸがいっぱいのときは　➡　録音されません。

■　録音時間は　➡　最大１分です。

メールサービス２　登録したメッセージを相手が聞いているか確認する

●自分が転送したまたは、吹き込んだメッセージを相手が聞いているか確認したいときは次のように操作します。

再生確認するには

手順１～３は、項”メールサービス２　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　５９ページ）



４　４ を押す

案内　再生確認ですね。相手のＩＤをどうぞ。



５　相手のＩＤ番号 を押す

➡　最初に『ＩＤ 相手のＩＤ番号 ですね。未再生のメッセージは・・』が聞こえ、相手に対し、自分が登録した未再生メッセージのＢＯＸ番号が聞こえます。

案内　以上です。呼出は ５ しない場合は ０ をどうぞ。



６　０ を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



７　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　未再生メッセージがないときは
➡　「未再生のメッセージはありません。」の案内が聞こえます。

■　それぞれのメッセージのまえに
➡　録音されたＢＯＸ番号、日時「ボックス××、××月××日××時××分」が聞こえます。（日時の再生部分は設定により変わります。）

■　呼出をなしで設定していると
➡　手順５での案内が「以上です。メニュー番号をどうぞ。」に変わります。

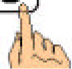
■　呼出をしたいときは
➡　手順６で ５ を押し、案内に従って操作します。

メールサービス2　メールを送信する

●登録されている定型文をメール送信したいときは次のように操作します。

定型文を送信する

手順１～３は、項”メールサービス２　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　５９ページ）



４　５ を押す

案内　メール送信ですね。相手のＩＤをどうぞ。



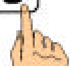
５　相手のＩＤ番号 を押す

案内　相手のＩＤ番号 ですね、定型文番号をどうぞ。



６　定型文番号 を押す

案内　定型文番号 ですね、よろしければ ５、誤りであれば ０ をどうぞ。



７　５ を押す

案内　メール送信を受け付けました。メニュー番号をどうぞ。



８　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　定型文番号を間違えたときは
➡　手順７で ０ を押し、手順６から再操作します。

■　手順７を行わずに電話を切ったときは　➡　メールは送信されません。

■　メールを送信する相手の呼出種別がメールに設定されていないときは
➡　手順５の案内が 相手のＩＤ番号 ですね、未設定です。」に変わり、手順５からの再操作となります。

メールサービス2　音声メール応答音声の設定をする

●音声メール回線で応答する音声を再生するには、次のように操作します。
●音声メール回線とは、お客様などのための録音専用線です。

音声メール応答音声を聞くには

手順1～3は、項”メールサービス2　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　59ページ）



4　6　を押す

案内　音声メール応答メンテナンスですね。再生は　1、録音は　2、削除は　3をどうぞ。



5　1　を押す

案内　再生ですね。日本語は　1、英語は　2　をどうぞ。



6　1　を押す



7　録音メッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュー番号をどうぞ。



8　電話を切る

➡　9　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　手順5の案内が違っている
➡　設定により手順6の操作はなく、日本語の応答音声のみが再生されます。

●音声メール回線で応答する音声を吹き込むためには、次のように操作します。

音声メール応答音声を吹き込むには

手順１～３は、項”メールサービス2　サービスを利用するときのまとめ”の手順１～３を参照してください。（☞　５９ページ）



４　6　を押す

案内　音声メール応答メンテナンスですね。再生は　1、録音は　2、削除は　3　をどうぞ。



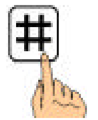
５　2　を押す

案内　録音ですね。日本語は　1、英語は　2　をどうぞ。



６　1　を押す

案内　#　を押し発信音の後からお話しください。終わりましたら　＊　をどうぞ。

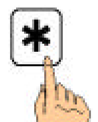


７　#　を押す

案内　ピッ。



８　応答音声を吹き込む



９　＊　を押す

案内　録音された音声を再生します。［メッセージ］よろしければ　5、再録音は　0　をどうぞ。



１０　5　を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



１１　電話を切る
➡　９　を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　メッセージを間違えたときは　➡　手順１０で　0　を押し、手順７から再吹き込みします。

■　手順９、１０を行わずに電話を切ったときは　➡　メッセージは保証されません。

■　メッセージを英語で録音するときは　➡　手順６で　2　を押します。
（メッセージは日本語、英語それぞれ１種類ずつしか録音できません。）

■　手順５の案内が違っている
➡　設定により手順６の操作はなく、日本語の応答音声のみが再生されます。

■　録音時間は　➡　日本語、英語とも２分です。

●音声メール回線で応答する音声を削除するには、次のように操作します。

音声メール応答音声を消すには

手順1～3は、項”メールサービス2　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　59ページ）



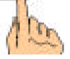
4　6 を押す

案内　音声メール応答メンテナンスですね。再生は 1、録音は 2、削除は 3 をどうぞ。



5　3 を押す

案内　削除ですね。日本語は 1、英語は 2 をどうぞ。



6　1 を押す

案内　日本語の削除ですね。よろしければ 5、誤りであれば 0 をどうぞ。



7　5 を押す

案内　メニュー番号をどうぞ。



8　電話を切る

➡　9 を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　削除しない場合は　➡　手順7で 0 を押します。

■　英語の音声を削除する場合は　➡　手順6で 2 を押します。

■　手順5の案内が違っている
➡　設定により手順6の操作はなく、日本語の応答音声のみが再生されます。

メールサービス2　暗証番号の設定をする

●暗証番号を設定するときや変更したいときは、次のように操作します。

暗証番号をセットするには

手順1～3は、項”メールサービス2　サービスを利用するときのまとめ”の手順1～3を参照してください。（☞　59ページ）



4　7 を押す

案内 暗証番号の設定ですね。4ケタでどうぞ。



5　暗証番号 を押す

案内 暗証番号 ですね。よろしければ 5、誤りであれば、0 をどうぞ。



6　5 を押す

案内 メニュー番号をどうぞ。



7　電話を切る

➡　9 を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順4からを繰り返します。

■　暗証番号を間違えたときは
➡　手順6で 0 を押し、手順5から再操作します。

■　手順6の操作を行わないで電話を切ったときは
➡　暗証番号は設定されません。

その他　メッセージ録音後に呼出する設定について

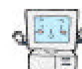
●自分のＩＤにメッセージが録音されると、次のどちらかの方法で知らせることができます。

呼出方法

（１）ポケットベルを呼出

■　セット方法は

➡　画面にて設定します。
通話録音、メッセージ録音後の呼出は、項”メールサービス１　ポケットベルまたは携帯電話等を呼出すための設定をする”の操作で変更することもできます。
メールサービスから変更できるのは、内部ＩＤの方のみです。
（☞　５７ページ）
着信代行録音後の呼出は、項”メールサービス１　着信代行の設定をする”の操作で変更することもできます。
メールサービスから変更できるのは、内部ＩＤの方のみです。
（☞　着信代行録音時に呼出すようにセットするには　５０ページ）

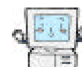


■　呼出されたら

➡　項”メールサービス１　自分あてのメッセージを聞く”の操作で聞きます。
（☞　３３ページ）

➡　着信代行の呼出のときは、項”メールサービス１　着信代行で録音されたメッセージを聞く”の操作で聞きます。
（☞　３９ページ）

➡　メッセージを聞き取らないと、３～３０分おきに合計１～９回呼出します。それでもメッセージを聞き取らないと呼出しません。（再呼出の設定がある場合）

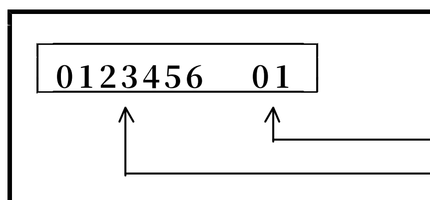


■　ポケットベルの表示は

➡　着信代行時の録音以外のポケットベルへの表示は、ポケットベル基本メッセージと録音されたＢＯＸ番号を表示します。

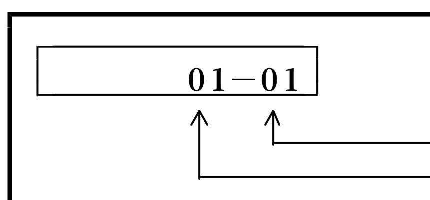
➡　着信代行時の録音のポケットベルへの表示は、録音された予備番号とＢＯＸ番号を表示します。

着信代行時以外のポケットベル表示（例）



ＢＯＸ番号（２桁固定）
ポケットベル基本メッセージ
または、入力したメッセージ（最大１０桁）

着信代行時のポケットベル表示（例）



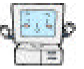
ＢＯＸ番号（２桁固定）
予備番号（２桁固定）

➡　呼び出し専用（ディスプレイ無）ポケットベルの場合は、メッセージ表示は行いません。

（2）携帯電話等を呼出

■　セット方法は

➡　画面にて設定します。
通話録音、メッセージ録音後の呼出は、項”メールサービス１　ポケットベルまたは携帯電話等を呼出すための設定をする”の操作で変更することもできます。
メールサービスから変更できるのは、内部ＩＤの方のみです。
（☞　５７ページ）
着信代行録音時の呼出は、項”メールサービス１　着信代行の設定をする”の操作で変更することもできます。
メールサービスから変更できるのは、内部ＩＤの方のみです。
（☞　着信代行録音時に呼出すようにセットするには　５０ページ）



■　呼出されたら

➡　項”メールサービス１　自分あてのメッセージを聞く”の操作で聞きます。
（☞　３３ページ）

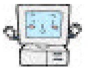
➡　着信代行の呼出のときは、項”メールサービス１　着信代行で録音されたメッセージを聞く”の操作で聞きます。
（☞　３９ページ）

■　システム設定画面の｢呼出時ﾒｰﾙｻｰﾋﾞｽ操作｣が不可(１)で設定されている場合は

➡　その通話でメッセージを聞くことはできませんので、ＥＲＲＤに電話をしてメッセージを聞き取ります。

■　約３０秒間、応答がないときや話し中のときは

➡　３～３０分後に再呼出します。合計１～９回呼出しても応答なしか、話し中のときは呼出しません。（再呼出の設定がある場合）



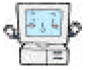
■　呼出先の電話機は

➡　携帯電話、自動車電話など、なるべく自分だけが応答する電話機を設定してください。

（３）メールを呼出

■　セット方法は

➡　画面にて設定します。
通話録音時、メッセージ録音時の呼出は、項”メールサービス１　ポケットベルまたは携帯電話等を呼出すための設定をする”の操作で変更することもできます。
メールサービスで変更できるのは、内部ＩＤの方のみです。
（☞　５７ページ）
着信代行録音時の呼出は、項”メールサービス１　着信代行の設定をする”の操作で変更することもできます。
メールサービスで変更できるのは、内部ＩＤの方のみです。
（☞　着信代行録音時に呼出すようにセットするには　５０ページ）



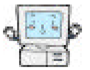
■　呼出されたら

➡　メール送信機能から呼出された場合の操作はありません。

➡　項”メールサービス１　自分あてのメッセージを聞く”の操作で聞きます。
（☞　３３ページ）

➡　着信代行の呼出のときは、項”メールサービス１　着信代行で録音されたメッセージを聞く”の操作で聞きます。
（☞　３９ページ）

➡　メッセージを聞き取らないと、３～３０分おきに合計１～９回呼出します。それでもメッセージを聞き取らないと呼出しません。（再呼出の設定がある場合）



■　メールの表示は

➡　着信代行録音時以外のメール表示は、録音されたＢＯＸ番号を表示します。

➡　着信代行録音時のメール表示は、録音された予備番号とＢＯＸ番号を表示します。

➡　表示内容は、定型文登録画面にて変更することも可能です。（１３７ページ）

・着信代行時以外のメール表示（初期設定内容）
「BOX０１ニメッセージアリ」

・着信代行時のメール表示（初期設定内容）
「チヤクダイBOX０１　ヨビＮＯ００ニメッセージアリ」

ご注意

➡　呼出しないようにも設定できます。

➡　呼出は専用回線を利用するため、回線がふさがっているときなどは、メッセージが吹き込まれた時間より遅れて呼出されることがあります。

➡　携帯電話を呼出したとき、ビーバステーション経由（携帯発信）で呼出されると、トーン信号が正常に出力されずにメッセージが聞き取れない場合がありますのでそのときは、一旦、呼び出された方は電話を切ってＥＲＲＤに電話をかけ聞き取りを行ってください。

その他　ポケットベルまたは携帯電話等が呼出されたら

●着信代行時の録音以外のときは、次のようにしてメッセージを聞きます。

ポケットベル、メールが呼出された(着信代行時以外)

項”自分あてのメッセージを聞く”の操作でメッセージを聞き取ります。
（☞　３３ページ、６２ページ）

携帯電話等が呼出された(着信代行時以外)



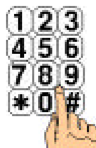
１　呼出音が鳴ったら、電話にでる

案内　こちらは音声メールです。ボックス××にメッセージが入りました。
ＩＤ××××ですね、よろしければ ５、誤りであれば ０ をどうぞ。



２　５ を押す

案内　暗証番号をどうぞ。



３　暗証番号 を押す

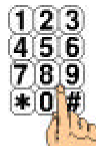
案内　メニュー番号をどうぞ。

➡　暗証番号を設定していないときは省略する。



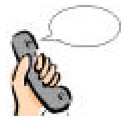
４　１ を押す

案内　メッセージ再生ですね。ボックスをどうぞ。



５　BOX番号 を押す

➡　全て再生したい場合は ０ ０ 、未再生のみ再生したいときは ＃ ＃ を押す。



６　メッセージが聞こえはじめる。

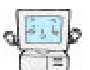
案内　メニュー番号をどうぞ。



７　電話を切る

➡　９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡　続けて操作するときは手順４からを繰り返します。

■　約３０秒間、応答がないときや話し中のときは
➡　３～９９分後に再呼出します。合計１～９回呼出しても応答なしか、話し中のときは呼出しません。（再呼出の設定がある場合）



■　手順２で ０ を押したときは　➡　再呼出しません。

■　手順１の案内が違っている
➡　システム設定画面の｢呼出時ﾒｰﾙｻｰﾋﾞｽ操作｣が不可(１)で設定されています。

●着信代行時の録音のときは、次のようにしてメッセージを聞きます。

ポケットベル、メールが呼出された(着信代行時)

項”メールサービス1　着信代行で録音されたメッセージを聞く”の操作でメッセージを聞き取ります。
（☞　３９ページ）

携帯電話等が呼出された(着信代行時)



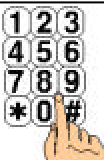
1　呼出音が鳴ったら、電話にでる

案内　こちらは音声メールです。予備番号××、ボックス××に着信代行メッセージが入りました、継続は ５、終了は ９ をどうぞ。



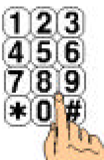
2　５ を押す

案内　あなたのＩＤをどうぞ。



3　自分のＩＤ番号 を押す

案内　ＩＤ 自分のＩＤ番号 ですね。暗証番号をどうぞ。



4　暗証番号 を押す

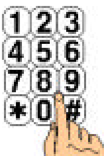
案内　メニュー番号をどうぞ。

➡ 暗証番号を設定していないときは省略する。



5　６ を押す

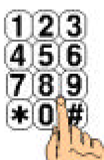
案内　着信代行の再生ですね。暗証番号をどうぞ。



6　着信代行暗証番号 を押す

案内　ボックスをどうぞ。

➡ 暗証番号を設定していないときは省略する。



7　ＢＯＸ番号 を押す

➡ 予備番号”００”以外のときは ＃ 予備番号 を押し、予備番号を切り替えてから ＢＯＸ番号 を押す。
➡ 全て再生したい場合は ０ ０ を押す。



8　メッセージが聞こえはじめる。

案内　メニュー番号をどうぞ。



9　電話を切る

➡ ９ を押して電話を切る。または電話を切る。
➡ 続けて操作するときは手順５からを繰り返します。

■　約３０秒間、応答がないときや話し中のときは

➡　３～３０分後に再呼出します。合計１～９回呼出しても応答なしか、話し中のときは呼出しません。　（再呼出の設定がある場合）

■　手順２で　０　を押したときは　➡　再呼出しません。

● 転送時のときは、次のようにします。

転送により電話等が呼出された（転送時）



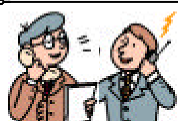
1 呼出音が鳴ったら、電話にでる

案内 専用回線より転送が入りました。接続は、５ をどうぞ。



2 ５ を押す

案内 おつなぎします。



3 相手とつながる

■ 手順２で ５ 以外を押したときは ➡ 電話が切れます。

■ 通話録音中転送を行った場合は（２６ページの操作で転送された場合）
➡ 電話にでると、相手とつながります。（手順１の案内、手順２はありません。）

その他　録音・再生できないとき

録音できないとき

通話録音、またはメールサービスで録音を行ったとき、次のような案内が流れた場合は録音できません。

案　　　内	処　　　置
「録音容量の限界を越えました。録音メッセージの整理を行って下さい。」	不要な録音メッセージの削除を行ってください。
「空きボックスがありません。」	１．相手に不要な録音メッセージの削除を行うよう指示してください。 ２．一斉同報録音のときは、不要な一斉同報録音メッセージの削除を行ってください。
「録音異常が発生しました。」	一旦電話をお切りになり、もう一度、録音操作を行ってください。 再度、同じ案内が流れたときはサービスまでご連絡ください。
「録音できません。」	
「録音できませんでした。」	
「システム異常が発生しました。」	サービスまでご連絡ください。

（注）音声情報メンテナンスを行っているときは、通話録音はできません。

再生できないとき

メッセージ再生を行ったとき、次のような案内が流れた場合は再生できません。

案　　　内	処　　　置
「再生できません。」	一旦電話をお切りになり、もう一度、再生操作を行ってください。 再度、同じ案内が流れたときはサービスまでご連絡ください。
「再生異常が発生しました。」	
「システム異常が発生しました。」	サービスまでご連絡ください。

ＩＤ番号表（内部者用）

このページをコピーして活用してください。

	外　　線	内　　線	音声メール外線
ＥＲＲＤ電話番号			

あなたのＩＤ番号

あなたの暗証番号

部　署　名	氏　　名	ＩＤ番号	部　署　名	氏　　名	ＩＤ番号

その他　ＩＤ番号表（外部者用）

このページをコピーして活用してください。

ＩＤ番号	暗証番号

氏名

会社名

住所
〒

電話番号

自宅住所
〒

自宅電話番号

その他　名刺の作り方

名刺の作り方例

営業などで外出が多くいつ電話をかけてもつかまらない方などは、名刺にＥＲＲＤの利用法を印刷すれば、取引先からの用件をすぐに受け取ることができ、対応が迅速になります。
（音声メール回線が必要となります。）

私が不在のときでも、２４時間・３６５日
いつでも、私あてにメッセージをどうぞ。

※プッシュホンを利用してください。

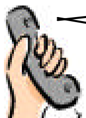
① 電話番号○○－○○○○○○○○に電話をおかけください。



こちらは音声メールです。
登録するＩＤをどうぞ。

② ×　×　×　× を押してください。

③ ＩＤを復唱してきますので正しいときは　５　を押してください。
（間違えたときは　０　を押しＩＤを再度、押してください。）



（私からの応答メッセージが聞こえます。）ピッ。

④ 私あてのメッセージをお話しください。

⑤ 終わりましたら　＊　を押し、お切りください。

名刺の裏面にメッセージの吹き込みかたを印刷します。わかりやすく作ってください。

←　自分のＩＤ番号

名刺裏面